

注3

大学番号：国041

[令和2年度設置]

計画の区分： 研究科の設置

注1

意見伺い

信州大学大学院 総合人文社会科学研究所

注2

【意見伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人信州大学

令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 経営企画部経営企画課

職名・氏名 主査 マル ヤマ マサ ヨ
丸 山 雅 代

電話番号 0263-37-2122

（夜間） 0263-37-2122

F A X 0263-37-3484

e-mail kikaku_gakuji@gm.shinshu-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

総合人文社会科学研究科

＜総合人文社会科学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	16
4. 既設大学等の状況	17
5. 教員組織の状況	21
6. 附帯事項等に対する履行状況等	39
7. その他全般的事項	42

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人信州大学

(2) 大学名

信州大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〔松本キャンパス〕（大学本部）〒390-8621
長野県松本市旭3丁目1番1号
〔長野（教育）キャンパス〕 〒380-8544
長野県長野市大字西長野6の口

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ハマダ クニヒロ) 濱田 州博 (H27.10)		
研究科長	(ヤマオキ ヨシカズ) 山沖 義和 (R02.4)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部や学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
総合人文社会科学研究科 総合人文社会科学専攻 (修士課程) 修士(文学) 修士(心理学) 修士(経済学) 修士(法学)	文学関係 経済学関係 法学関係	年 2	人 36	年次	人 72	基礎となる学部等 人文学部 教育学部 経法学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度								平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 36 () [若干人]	人 — () [—]	人 — () [—]	人 — () [—]	人 — () [—]	人 — () [—]	人 — () [—]	人 — () [—]	人 — () [—]	人 — () [—]	0.80倍	0.80倍	
志願者数	51 () [5]	— () [—]	— () [—]	— () [—]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
受験者数	47 () [5]	— () [—]	— () [—]	— () [—]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
合格者数	35 () [1]	— () [—]	— () [—]	— () [—]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
B 入学者数	29 () [1]	— () [—]	— () [—]	— () [—]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
入学定員超過率 B/A	0.80		—										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度								備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	29 [1] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	
2年次	/		— [—] (—)	— [—] (—)	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	
3年次			/		/		[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()
4年次	/						/		/		[] [] ()
計			29 [1] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	[] [] ()					[] [] ()

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	29 人	0 人	令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
合計		0 人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{29} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<総合人文社会科学研究所 総合人文社会科学専攻>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通基幹科目群	共通基幹科目 解析手法論Ⅰ 解析手法論Ⅰ・心理統計法特論 解析手法論Ⅱ 解析手法論Ⅱ・心理学研究法特論 人文社会科学研究者倫理A 人文社会科学研究者倫理B 小計(6科目)	1・2前		2		1	3	1					
		1・2前		2		2							
		1・2後		2		2		1					
		1・2後		2		1							
		1・2前		2		1	1						
		1・2前		2		4	7	1				2	
	分野横断科目	人文社会科学修論課題合同発表A 人文社会科学修論課題合同発表B 社会課題別PBL A 社会課題別PBL B 小計(4科目)	1通		2		6	7	2				2
			2通	2			6	7	2				2
			1後	2			6	7	1				2
			2前	2			4	9	1				2
人間文化学分野	専門基盤科目群 人間文化学分野コア科目 哲学思想論 文化情報論・社会学論 歴史学論 日本語文化論 英米言語文化論 比較言語文化論 芸術コミュニケーション論 哲学思想論総合演習Ⅰ(哲学総合) 哲学思想論総合演習Ⅱ(比較思想) 文化情報論・社会学総合演習Ⅰ(現代文化) 文化情報論・社会学総合演習Ⅱ(社会情報) 歴史学総合演習Ⅰ(日本史学研究法) 歴史学総合演習Ⅱ(西洋史・東洋史学研究法) 日本語文化総合演習Ⅰ(異文化としての日本語・日本文学) 日本語文化総合演習Ⅱ(古代日本語文献コミュニケーション論) 英米言語文化総合演習Ⅰ(英語学) 英米言語文化総合演習Ⅱ(英米文学文化) 比較言語文化総合演習Ⅰ(散文) 比較言語文化総合演習Ⅱ(韻文) 芸術コミュニケーション総合演習Ⅰ(理論と歴史) 芸術コミュニケーション総合演習Ⅱ(個別研究) 哲学思想論実践演習Ⅰ(アカデミックリテラシー) 哲学思想論実践演習Ⅱ(イノベーションコンピテンシー)	1前		2		3	1						
		1前		2		1	1						
		1前		2		2	2						
		1前		2		2	2						
		1前		2		2	1						
		1前		2		5	2		1				
		1前		2		1	2						
		1前		2		2							
		1後		2		1	1						
		1前		2		2							
		1後		2		2							
		1前		2		2							
		1後		2		2							
		1前		2		2		2					
		1後		2		2		2					
		1前		2		2		2					
		1後		2		2		2					
		1前		2		2		1			1		
		1後		2		2		1			1		
		1前		2		2		1	2				
1後		2		2		1	2						
1前		2		3		1							
1後		2		3		1							

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通基幹科目群	共通基幹科目 解析手法論Ⅰ 解析手法論Ⅰ・心理統計法特論 解析手法論Ⅱ 解析手法論Ⅱ・心理学研究法特論 人文社会科学研究者倫理A 人文社会科学研究者倫理B 小計(6科目)	1・2前		2		1	3	1					
		1・2前		2		2							
		1・2後		2		2		1					
		1・2後		2		1							
		1・2前		2		1	1						
		1・2前		2		4	7	1				2	
	分野横断科目	人文社会科学修論課題合同発表A 人文社会科学修論課題合同発表B 社会課題別PBL A 社会課題別PBL B 小計(4科目)	1通		2		6	7	2				2
			2通	2			6	7	2				2
			1後	2			6	7	1				2
			2前	2			4	9	1				2
人間文化学分野	専門基盤科目群 人間文化学分野コア科目 哲学思想論 文化情報論・社会学論 歴史学論 日本語文化論 英米言語文化論 比較言語文化論 芸術コミュニケーション論 哲学思想論総合演習Ⅰ(哲学総合) 哲学思想論総合演習Ⅱ(比較思想) 文化情報論・社会学総合演習Ⅰ(現代文化) 文化情報論・社会学総合演習Ⅱ(社会情報) 歴史学総合演習Ⅰ(日本史学研究法) 歴史学総合演習Ⅱ(西洋史・東洋史学研究法) 日本語文化総合演習Ⅰ(異文化としての日本語・日本文学) 日本語文化総合演習Ⅱ(古代日本語文献コミュニケーション論) 英米言語文化総合演習Ⅰ(英語学) 英米言語文化総合演習Ⅱ(英米文学文化) 比較言語文化総合演習Ⅰ(散文) 比較言語文化総合演習Ⅱ(韻文) 芸術コミュニケーション総合演習Ⅰ(理論と歴史) 芸術コミュニケーション総合演習Ⅱ(個別研究) 哲学思想論実践演習Ⅰ(アカデミックリテラシー) 哲学思想論実践演習Ⅱ(イノベーションコンピテンシー)	1前		2		3	1						
		1前		2		1	1						
		1前		2		2	2						
		1前		2		2	2						
		1前		2		2	1						
		1前		2		5	2			1			
		1前		2		1	2						
		1前		2		2							
		1後		2		1	1						
		1前		2		2							
		1後		2		2							
		1前		2		2		2					
		1後		2		2		2					
		1前		2		2		2					
		1後		2		2		2					
		1前		2		2		2					
		1後		2		2		2					
		1前		2		2		1			1		
		1後		2		2		1			1		
		1前		2		2		1	2				
1後		2		2		1	2						
1前		2		3		1							
1後		2		3		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	社会学実践演習Ⅰ (社会学の理論と実証)	1前	2			1					
	社会学実践演習Ⅱ (質的研究法)	1後	2			1					
	文化情報論実践演習Ⅰ (内容分析)	1前	2			1	2				
	文化情報論実践演習Ⅱ (行動調査)	1後	2			1	2				
	歴史学実践演習Ⅰ (史学概論・日本史)	1前	2			2					
	歴史学実践演習Ⅱ (史学概論・西洋史・東洋史)	1後	2			2					
	日本文学実践演習Ⅰ (韻文)	1前	2			1	1				
	日本文学実践演習Ⅱ (散文)	1後	2			1	1				
	日本語学実践演習Ⅰ (古代語)	1前	2			1					
	日本語学実践演習Ⅱ (近代語)	1後	2			1					
	日本語教育学実践演習Ⅰ (言語研究と言語教育)	1前	2			1					
	日本語教育学実践演習Ⅱ (第二言語習得・学習)	1後	2			1					
	中国語学・文学実践演習Ⅰ (中国文学)	1前	2			1	1				
	中国語学・文学実践演習Ⅱ (現代中国語学)	1後	2			1	1				
	比較文学実践演習Ⅰ (詩)	1前	2			2					
	比較文学実践演習Ⅱ (小説)	1後	2			2					
	フランス語学・フランス文学実践演習Ⅰ (基礎的方法論)	1前	2			2					
	フランス語学・フランス文学実践演習Ⅱ (発展的方法論)	1後	2			2					
	ドイツ語学・ドイツ文学実践演習Ⅰ (ドイツ語学研究)	1前	2			1		1			
	ドイツ語学・ドイツ文学実践演習Ⅱ (文学研究方法論)	1後	2			1		1			
	英語学実践演習Ⅰ (英語学概論)	1前	2			1					
	英語学実践演習Ⅱ (英語学方法論研究)	1後	2			1					
	英語文学実践演習Ⅰ (イギリス文学文化)	1前	2			1	1				
	英語文学実践演習Ⅱ (アメリカ文学文化)	1後	2			1	1				
	芸術コミュニケーション実践演習Ⅰ (リサーチ・ベース)	1前	2			1	2				
	芸術コミュニケーション実践演習Ⅱ (パブリケーション・ベース)	1後	2			1	2				
	小計 (49科目)	—	98			16	13	0	1	0	
専門発展科目群	アクションリサーチ系科目										
	哲学思想論ARⅠ (哲学的対話の方法)	2前	2			2					
	哲学思想論ARⅡ (哲学的対話の実践)	2後	2			1	1				
	文化情報論・社会学ARⅠ (調査企画設計)	2前	2			1	3				
	文化情報論・社会学ARⅡ (総合調査法)	2後	2			1	3				
	歴史学ARⅠ (史料調査法・日本史)	2前	2			2					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	社会学実践演習Ⅰ (社会学の理論と実証)	1前	2			1					
	社会学実践演習Ⅱ (質的研究法)	1後	2			1					
	文化情報論実践演習Ⅰ (内容分析)	1前	2			1	2				
	文化情報論実践演習Ⅱ (行動調査)	1後	2			1	2				
	歴史学実践演習Ⅰ (史学概論・日本史)	1前	2			2					
	歴史学実践演習Ⅱ (史学概論・西洋史・東洋史)	1後	2			2					
	日本文学実践演習Ⅰ (韻文)	1前	2			1	1				
	日本文学実践演習Ⅱ (散文)	1後	2			1	1				
	日本語学実践演習Ⅰ (古代語)	1前	2			1					
	日本語学実践演習Ⅱ (近代語)	1後	2			1					
	日本語教育学実践演習Ⅰ (言語研究と言語教育)	1前	2			1					
	日本語教育学実践演習Ⅱ (第二言語習得・学習)	1後	2			1					
	中国語学・文学実践演習Ⅰ (中国文学)	1前	2			1	1				
	中国語学・文学実践演習Ⅱ (現代中国語学)	1後	2			1	1				
	比較文学実践演習Ⅰ (詩)	1前	2			2					
	比較文学実践演習Ⅱ (小説)	1後	2			2					
	フランス語学・フランス文学実践演習Ⅰ (基礎的方法論)	1前	2			2					
	フランス語学・フランス文学実践演習Ⅱ (発展的方法論)	1後	2			2					
	ドイツ語学・ドイツ文学実践演習Ⅰ (ドイツ語学研究)	1前	2			1		1			
	ドイツ語学・ドイツ文学実践演習Ⅱ (文学研究方法論)	1後	2			1		1			
	英語学実践演習Ⅰ (英語学概論)	1前	2			1					
	英語学実践演習Ⅱ (英語学方法論研究)	1後	2			1					
	英語文学実践演習Ⅰ (イギリス文学文化)	1前	2			1	1				
	英語文学実践演習Ⅱ (アメリカ文学文化)	1後	2			1	1				
	芸術コミュニケーション実践演習Ⅰ (リサーチ・ベース)	1前	2			1	2				
	芸術コミュニケーション実践演習Ⅱ (パブリケーション・ベース)	1後	2			1	2				
	小計 (49科目)	—	98			16	13	0	1	0	
専門発展科目群	アクションリサーチ系科目										
	哲学思想論ARⅠ (哲学的対話の方法)	2前	2			2					
	哲学思想論ARⅡ (哲学的対話の実践)	2後	2			1	1				
	文化情報論・社会学ARⅠ (調査企画設計)	2前	2			1	3				
	文化情報論・社会学ARⅡ (総合調査法)	2後	2			1	3				
	歴史学ARⅠ (史料調査法・日本史)	2前	2			2					

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	歴史学ARⅡ（史料調査法・西洋史・東洋史）	2後	2			2						
	日本語文化ARⅠ（コミュニケーションツールとしての日本語・日本文学）	2前	2			2						
	日本語文化ARⅡ（近代を中心とする日本語文庫コミュニケーション論）	2後	2			2						
	英米言語文化ARⅠ（英語学）	2前	2			2	1					
	英米言語文化ARⅡ（英米文学文化）	2後	2			2	1					
	比較言語文化ARⅠ（多文化交流サロン）	2前	2			3	1					
	比較言語文化ARⅡ（外国語サロン）	2後	2			3	1					
	芸術コミュニケーションARⅠ（創作と芸術実践）	2前	2			1	2					
	芸術コミュニケーションARⅡ（芸術実践と展開）	2後	2			1	2					
	小計（14科目）	—	28			14	12	0	0	0		
人間文化学 分野 発展科目	哲学思想論研究Ⅰ（心と科学）	1後・2前	2			1						
	哲学思想論研究Ⅱ（言語と形而上学）	1後・2前	2			1						
	哲学思想論研究Ⅲ（西洋哲学）	1後・2前	2			1						
	哲学思想論研究Ⅳ（現代哲学）	1後・2前	2			1						
	哲学思想論研究Ⅴ（比較思想の理論）	1後・2前	2			1						
	哲学思想論研究Ⅵ（比較思想の方法）	1後・2前	2			1						
	哲学思想論研究Ⅶ（中国思想）	1後・2前	2			1						
	哲学思想論研究Ⅷ（東洋思想）	1後・2前	2			1						
	社会学研究Ⅰ（社会学理論構築法）	1後・2前	2			1						
	社会学研究Ⅱ（環境・地域社会学）	1後・2前	2			1						
	文化情報論研究Ⅰ（批判的思考）	1後・2前	2			1						
	文化情報論研究Ⅱ（科学的懐疑論）	1後・2前	2			1						
	文化情報論研究Ⅲ（多変量解析）	1後・2前	2			1						
	文化情報論研究Ⅳ（消費行動）	1後・2前	2			1						
	文化情報論研究Ⅴ（社会的行動）	1後・2前	2			1						
	文化情報論研究Ⅵ（メディアコミュニケーション）	1後・2前	2			1						
	日本史研究Ⅰ（日本近世史研究）	1後・2前	2			1						
	日本史研究Ⅱ（日本近世史料論）	1後・2前	2			1						
	日本史研究Ⅲ（日本近代社会史）	1後・2前	2			1						
	日本史研究Ⅳ（日本現代社会史）	1後・2前	2			1						
	東洋史研究Ⅰ（アジア近世・近代史）	1後・2前	2			1						
東洋史研究Ⅱ（中国近世・近代史）	1後・2前	2			1							
西洋史研究Ⅰ（経済）	1後・2前	2			1							
西洋史研究Ⅱ（社会）	1後・2前	2			1							
日本文学研究Ⅰ（古代・中世期文学）	1後・2前	2			1							
日本文学研究Ⅱ（散文）	1後・2前	2			1							
日本文学研究Ⅲ（近世・明治期文学）	1後・2前	2			1							

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	歴史学ARⅡ（史料調査法・西洋史・東洋史）	2後	2			2						
	日本語文化ARⅠ（コミュニケーションツールとしての日本語・日本文学）	2前	2			2						
	日本語文化ARⅡ（近代を中心とする日本語文庫コミュニケーション論）	2後	2			2						
	英米言語文化ARⅠ（英語学）	2前	2			2	1					
	英米言語文化ARⅡ（英米文学文化）	2後	2			2	1					
	比較言語文化ARⅠ（多文化交流サロン）	2前	2			3	1					
	比較言語文化ARⅡ（外国語サロン）	2後	2			3	1					
	芸術コミュニケーションARⅠ（創作と芸術実践）	2前	2			1	2					
	芸術コミュニケーションARⅡ（芸術実践と展開）	2後	2			1	2					
	小計（14科目）	—	28			14	12	0	0	0		
人間文化学 分野 発展科目	哲学思想論研究Ⅰ（心と科学）	1後・2前	2			1						
	哲学思想論研究Ⅱ（言語と形而上学）	1後・2前	2			1						
	哲学思想論研究Ⅲ（西洋哲学）	1後・2前	2			1						
	哲学思想論研究Ⅳ（現代哲学）	1後・2前	2			1						
	哲学思想論研究Ⅴ（比較思想の理論）	1後・2前	2			1						
	哲学思想論研究Ⅵ（比較思想の方法）	1後・2前	2			1						
	哲学思想論研究Ⅶ（中国思想）	1後・2前	2			1						
	哲学思想論研究Ⅷ（東洋思想）	1後・2前	2			1						
	社会学研究Ⅰ（社会学理論構築法）	1後・2前	2			1						
	社会学研究Ⅱ（環境・地域社会学）	1後・2前	2			1						
	文化情報論研究Ⅰ（批判的思考）	1後・2前	2			1						
	文化情報論研究Ⅱ（科学的懐疑論）	1後・2前	2			1						
	文化情報論研究Ⅲ（多変量解析）	1後・2前	2			1						
	文化情報論研究Ⅳ（消費行動）	1後・2前	2			1						
	文化情報論研究Ⅴ（社会的行動）	1後・2前	2			1						
	文化情報論研究Ⅵ（メディアコミュニケーション）	1後・2前	2			1						
	日本史研究Ⅰ（日本近世史研究）	1後・2前	2			1						
	日本史研究Ⅱ（日本近世史料論）	1後・2前	2			1						
	日本史研究Ⅲ（日本近代社会史）	1後・2前	2			1						
	日本史研究Ⅳ（日本現代社会史）	1後・2前	2			1						
	東洋史研究Ⅰ（アジア近世・近代史）	1後・2前	2			1						
東洋史研究Ⅱ（中国近世・近代史）	1後・2前	2			1							
西洋史研究Ⅰ（経済）	1後・2前	2			1							
西洋史研究Ⅱ（社会）	1後・2前	2			1							
日本文学研究Ⅰ（古代・中世期文学）	1後・2前	2			1							
日本文学研究Ⅱ（散文）	1後・2前	2			1							
日本文学研究Ⅲ（近世・明治期文学）	1後・2前	2			1							

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	日本文学研究Ⅳ（韻文）	1後・2前		2			1					
	日本語学研究Ⅰ（歴史言語学）	1後・2前		2		1						
	日本語学研究Ⅱ（言語の社会性）	1後・2前		2		1						
	日本語教育学研究Ⅰ（第二言語指導の理論と技術）	1後・2前		2			1					
	日本語教育学研究Ⅱ（第二言語学習者の特性）	1後・2前		2			1					
	中国学研究Ⅰ（古典詩）	1後・2前		2		1						
	中国学研究Ⅱ（古典文）	1後・2前		2		1						
	中国語学研究Ⅰ（現代中国語文法）	1後・2前		2			1					
	中国語学研究Ⅱ（現代中国語意味論）	1後・2前		2			1					
	比較文学研究Ⅰ（西洋古典韻文講読）	1後・2前		2		1						
	比較文学研究Ⅱ（西洋古典散文講読）	1後・2前		2		1						
	比較文学研究Ⅲ（近代詩）	1後・2前		2		1						
	比較文学研究Ⅳ（近代小説）	1後・2前		2		1						
	フランス語学・フランス文学研究Ⅰ（文学と思想）	1後・2前		2		1						
	フランス語学・フランス文学研究Ⅱ（文学とメディア）	1後・2前		2		1						
	フランス語学・フランス文学研究Ⅲ（詩法）	1後・2前		2		1						
	フランス語学・フランス文学研究Ⅳ（19世紀フランス詩研究）	1後・2前		2		1						
	ドイツ語学・ドイツ文学研究Ⅰ（ドイツ語造語論）	1後・2前		2			1					
	ドイツ語学・ドイツ文学研究Ⅱ（ドイツ語テキスト分析）	1後・2前		2			1					
	ドイツ語学・ドイツ文学研究Ⅲ（20世紀ドイツ文学）	1後・2前		2				1				
	ドイツ語学・ドイツ文学研究Ⅳ（ドイツ文学と記憶）	1後・2前		2					1			
	英語学研究Ⅰ（通時的的研究）	1後・2前		2		1						
	英語学研究Ⅱ（共時的的研究）	1後・2前		2						1		
	英語学研究Ⅲ（英語構造論）	1後・2前		2							1	
	英語学研究Ⅳ（英語テキスト分析）	1後・2前		2		1						
	英語文学研究Ⅰ（イギリス文学文化）	1後・2前		2		1						
	英語文学研究Ⅱ（英語圏文化と映画）	1後・2前		2			1					
	英語文学研究Ⅲ（アメリカ文学文化）	1後・2前		2		1						
	英語文学研究Ⅳ（英語圏文化批評と映画）	1後・2前		2			1					
	芸術コミュニケーション研究Ⅰ（現代舞踊論）	1後・2前		2			1					
	芸術コミュニケーション研究Ⅱ（身体論）	1後・2前		2			1					
	芸術コミュニケーション研究Ⅲ（現代美術論）	1後・2前		2		1						
	芸術コミュニケーション研究Ⅳ（彫刻論）	1後・2前		2			1					

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	日本文学研究Ⅳ（韻文）	1後・2前		2			1					
	日本語学研究Ⅰ（歴史言語学）	1後・2前		2		1						
	日本語学研究Ⅱ（言語の社会性）	1後・2前		2		1						
	日本語教育学研究Ⅰ（第二言語指導の理論と技術）	1後・2前		2			1					
	日本語教育学研究Ⅱ（第二言語学習者の特性）	1後・2前		2			1					
	中国学研究Ⅰ（古典詩）	1後・2前		2		1						
	中国学研究Ⅱ（古典文）	1後・2前		2		1						
	中国語学研究Ⅰ（現代中国語文法）	1後・2前		2			1					
	中国語学研究Ⅱ（現代中国語意味論）	1後・2前		2			1					
	比較文学研究Ⅰ（西洋古典韻文講読）	1後・2前		2		1						
	比較文学研究Ⅱ（西洋古典散文講読）	1後・2前		2		1						
	比較文学研究Ⅲ（近代詩）	1後・2前		2		1						
	比較文学研究Ⅳ（近代小説）	1後・2前		2		1						
	フランス語学・フランス文学研究Ⅰ（文学と思想）	1後・2前		2		1						
	フランス語学・フランス文学研究Ⅱ（文学とメディア）	1後・2前		2		1						
	フランス語学・フランス文学研究Ⅲ（詩法）	1後・2前		2		1						
	フランス語学・フランス文学研究Ⅳ（19世紀フランス詩研究）	1後・2前		2		1						
	ドイツ語学・ドイツ文学研究Ⅰ（ドイツ語造語論）	1後・2前		2			1					
	ドイツ語学・ドイツ文学研究Ⅱ（ドイツ語テキスト分析）	1後・2前		2			1					
	ドイツ語学・ドイツ文学研究Ⅲ（20世紀ドイツ文学）	1後・2前		2				1				
	ドイツ語学・ドイツ文学研究Ⅳ（ドイツ文学と記憶）	1後・2前		2					1			
	英語学研究Ⅰ（通時的的研究）	1後・2前		2		1						
	英語学研究Ⅱ（共時的的研究）	1後・2前		2						1		
	英語学研究Ⅲ（英語構造論）	1後・2前		2							1	
	英語学研究Ⅳ（英語テキスト分析）	1後・2前		2		1						
	英語文学研究Ⅰ（イギリス文学文化）	1後・2前		2		1						
	英語文学研究Ⅱ（英語圏文化と映画）	1後・2前		2			1					
	英語文学研究Ⅲ（アメリカ文学文化）	1後・2前		2		1						
	英語文学研究Ⅳ（英語圏文化批評と映画）	1後・2前		2			1					
	芸術コミュニケーション研究Ⅰ（現代舞踊論）	1後・2前		2			1					
	芸術コミュニケーション研究Ⅱ（身体論）	1後・2前		2			1					
	芸術コミュニケーション研究Ⅲ（現代美術論）	1後・2前		2		1						
	芸術コミュニケーション研究Ⅳ（彫刻論）	1後・2前		2			1					

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	芸術コミュニケーション研究Ⅴ(音楽学研究)	1後・2前	2				1					
	芸術コミュニケーション研究Ⅵ(音楽と社会) (研究指導)	1後・2前 1~2通	2 -				1 16	13	0	1	0	
	小計(62科目)	-	0	124	0	16	13	0	1	0	1	
心理学分野	心理学研究指導Ⅰ	2前	2			4	7	1				
	心理学研究指導Ⅱ	2後	2			4	7	1				
	心理学総合演習Ⅰ	1前	2			4	7	1				
	心理学総合演習Ⅱ	1後	2			4	7	1				
	心理学理論研究	1前	2			1	2					
	心理学総合演習	1後	2			1	2					
	小計(6科目)	-	8	4	0	5	9	1	0	0		
	発達・教育心理学実習	2通	2			2	5	1				2
	実験心理学実習	2前	2			1	1					
	社会心理学実習	2前	2			1	1					
	小計(3科目)	-	0	6	0	5	9	1	0	0		2
	心理学分野 発展科目	人間の精神と社会環境特論	1前	2			1					
人間の精神と社会環境演習		1後	2			1						
学習過程論特論		1前	2								1	
学習過程論演習		1後	2								1	
人間形成論特論		1前	2				1					
人間形成論演習		1後	2				1					
音楽心理学特論		1前	2				1					
音楽心理学演習		1後	2				1					
野外教育グループカウンセリング特論		1前	2					1				
野外教育グループカウンセリング演習		1後	2					1				
比較教育学特論		1前	2								1	
比較教育学演習		1後	2								1	
国際精神保健学特論		1前	2				1					
国際精神保健学演習		1後	2				1					
認知工学特論		1前	2				1					
認知工学演習		1後	2				1					
家族心理学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)		1・2前・後	2									1
学校カウンセリング総論(福祉分野に関する理論と支援の展開)		1後	2			1						
学校臨床心理学演習(教育分野に関する理論と支援の展開)		1後	2				1					
教育心理学特論		1前	2			1						
教育心理学演習		1後	2			1						
司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開		1・2前・後	2									1
社会心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)		1・2前・後	2			1						
心の健康教育に関する理論と実践		1・2後	2				1					
精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)		1・2前・後	2									1
認知心理学特論		1前	2			1						
認知心理学演習		1後	2			1						
発達心理学特論		1前	2				1				1	
発達心理学演習		1後	2				1				1	
実験心理学研究		1後・2前	2			1						
基礎心理学研究		1後・2前	2			1						
認知心理学研究		1後・2前	2				1					
生理心理学研究	1後・2前	2				1						
社会心理学研究	1後・2前	2				1						
グループダイナミックス	1後・2前	2				1						

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	芸術コミュニケーション研究Ⅴ(音楽学研究)	1後・2前	2				1					
	芸術コミュニケーション研究Ⅵ(音楽と社会) (研究指導)	1後・2前 1~2通	2 -				1 16	13	0	1	0	
	小計(62科目)	-	0	124	0	16	13	0	1	0	1	
心理学分野	心理学研究指導Ⅰ	2前	2			4	7	1				
	心理学研究指導Ⅱ	2後	2			4	7	1				
	心理学総合演習Ⅰ	1前	2			4	7	1				
	心理学総合演習Ⅱ	1後	2			4	7	1				
	心理学理論研究	1前	2			1	2					
	心理学総合演習	1後	2			1	2					
	小計(6科目)	-	8	4	0	5	9	1	0	0		
	発達・教育心理学実習	2通	2			2	5	1				2
	実験心理学実習	2前	2			1	1					
	社会心理学実習	2前	2			1	1					
	小計(3科目)	-	0	6	0	5	9	1	0	0		2
	心理学分野 発展科目	人間の精神と社会環境特論	1前	2			1					
人間の精神と社会環境演習		1後	2			1						
学習過程論特論		1前	2								1	
学習過程論演習		1後	2								1	
人間形成論特論		1前	2				1					
人間形成論演習		1後	2				1					
音楽心理学特論		1前	2				1					
音楽心理学演習		1後	2				1					
野外教育グループカウンセリング特論		1前	2					1				
野外教育グループカウンセリング演習		1後	2					1				
比較教育学特論		1前	2								1	
比較教育学演習		1後	2								1	
国際精神保健学特論		1前	2				1					
国際精神保健学演習		1後	2				1					
認知工学特論		1前	2				1					
認知工学演習		1後	2				1					
家族心理学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)		1・2前・後	2									1
学校カウンセリング総論(福祉分野に関する理論と支援の展開)		1後	2			1						
学校臨床心理学演習(教育分野に関する理論と支援の展開)		1後	2				1					
教育心理学特論		1前	2			1						
教育心理学演習		1後	2			1						
司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開		1・2前・後	2									1
社会心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)		1・2前・後	2			1						
心の健康教育に関する理論と実践		1・2後	2				1					
精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)		1・2前・後	2									1
認知心理学特論		1前	2			1						
認知心理学演習		1後	2			1						
発達心理学特論		1前	2				1				1	
発達心理学演習		1後	2				1				1	
実験心理学研究		1後・2前	2			1						
基礎心理学研究		1後・2前	2			1						
認知心理学研究		1後・2前	2				1					
生理心理学研究	1後・2前	2				1						
社会心理学研究	1後・2前	2				1						
グループダイナミックス	1後・2前	2				1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
心理学分野 臨床心理学コース	(研究指導)	-	-	-	-	1	2							
	小計(35科目)	-	0	70	0	5	9	1	0	0	0	6		
	心理学研究指導Ⅰ	2前	2			4	7	1						
	心理学研究指導Ⅱ	2後	2			4	7	1						
	心理学総合演習Ⅰ	1前	2			4	7	1						
	心理学総合演習Ⅱ	1後	2			4	7	1						
	小計(4科目)	-	8	0	0	4	7	0	0	0	0			
	専門基礎科目	臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習)	2通	2			2	2					1	
		発達・教育心理学実習	2通	2			2	5	1				2	
		臨床心理学基礎実習	1通	2			1	2						
		臨床心理実習Ⅱ	2通	2			2	2						
	小計(4科目)	-	2	6	0	4	7	1	0	0	0	3		
	心理学分野 発展科目	人間の精神と社会環境特論	1前	2			1							
		人間の精神と社会環境演習	1後	2			1							
		学習過程論特論	1前	2									1	
		学習過程論演習	1後	2									1	
		人間形成論特論	1前	2				1						
		人間形成論演習	1後	2				1						
		音楽心理学特論	1前	2				1						
		音楽心理学演習	1後	2				1						
		野外教育グループカウンセリング特論	1前	2					1					
		野外教育グループカウンセリング演習	1後	2					1					
		比較教育学特論	1前	2									1	
		比較教育学演習	1後	2									1	
		国際精神保健学特論	1前	2				1						
		国際精神保健学演習	1後	2				1						
		認知工学特論	1前	2				1						
		認知工学演習	1後	2				1						
		家族心理学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	1・2前・後	2										1
		学校カウンセリング総論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	1後	2			1							
		学校臨床心理学演習(教育分野に関する理論と支援の展開)	1後	2				1						
		学校臨床心理学特論	1・2前	2			1							
		教育心理学特論	1前	2			1							
		教育心理学演習	1後	2			1							
		司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	1・2前・後	2										1
		社会心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	1・2前・後	2			1							
心の健康教育に関する理論と実践		1・2後	2				1							
精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)		1・2前・後	2										1	
認知心理学特論		1前	2			1								
認知心理学演習	1後	2			1									
発達心理学特論	1前	2				1					1			
発達心理学演習	1後	2				1					1			
臨床心理学特論Ⅰ	1前	2			1						1			
臨床心理学特論Ⅱ	1前	2			1						1			
臨床心理査定演習Ⅰ(心理的アセスメントに関する理論と実践)	1後	2			1									
臨床心理査定演習Ⅱ	1前・後	2										1		
臨床心理面接特論Ⅰ(心理支援に関する理論と実践)	1前	2				1								
臨床心理面接特論Ⅱ	1後	2				1								
小計(36科目)	-	0	72	0	4	7	1	0	0	0	兼6			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
心理学分野 臨床心理学コース	(研究指導)	-	-	-	-	1	2							
	小計(35科目)	-	0	70	0	5	9	1	0	0	0	6		
	心理学研究指導Ⅰ	2前	2			4	7	1						
	心理学研究指導Ⅱ	2後	2			4	7	1						
	心理学総合演習Ⅰ	1前	2			4	7	1						
	心理学総合演習Ⅱ	1後	2			4	7	1						
	小計(4科目)	-	8	0	0	7	7	0	2	0				
	専門基礎科目	臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習)	2通	2			2	2					0	
		発達・教育心理学実習	2通	2			2	5	1				2	
		臨床心理学基礎実習	1通	2			1	2						
		臨床心理実習Ⅱ	2通	2			2	2						
	小計(4科目)	-	2	6	0	4	7	1	0	0	0	2		
	心理学分野 発展科目	人間の精神と社会環境特論	1前	2			1							
		人間の精神と社会環境演習	1後	2			1							
		学習過程論特論	1前	2										1
		学習過程論演習	1後	2										1
		人間形成論特論	1前	2				1						
		人間形成論演習	1後	2				1						
		音楽心理学特論	1前	2				1						
		音楽心理学演習	1後	2				1						
		野外教育グループカウンセリング特論	1前	2								1		
		野外教育グループカウンセリング演習	1後	2								1		
		比較教育学特論	1前	2										1
		比較教育学演習	1後	2										1
		国際精神保健学特論	1前	2				1						
		国際精神保健学演習	1後	2				1						
		認知工学特論	1前	2				1						
		認知工学演習	1後	2				1						
		家族心理学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	1・2前・後	2										1
		学校カウンセリング総論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	1後	2			1							
		学校臨床心理学演習(教育分野に関する理論と支援の展開)	1後	2				1						
		学校臨床心理学特論	1・2前	2			1							
		教育心理学特論	1前	2			1							
		教育心理学演習	1後	2			1							
		司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	1・2前・後	2										1
		社会心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	1・2前・後	2			1							
心の健康教育に関する理論と実践		1・2後	2				1							
精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)		1・2前・後	2										1	
認知心理学特論		1前	2			1								
認知心理学演習	1後	2			1									
発達心理学特論	1前	2				1					1			
発達心理学演習	1後	2				1					1			
臨床心理学特論Ⅰ	1前	2			1						1			
臨床心理学特論Ⅱ	1前	2			1						1			
臨床心理査定演習Ⅰ(心理的アセスメントに関する理論と実践)	1後	2			1									
臨床心理査定演習Ⅱ	1前・後	2										1		
臨床心理面接特論Ⅰ(心理支援に関する理論と実践)	1前	2				1								
臨床心理面接特論Ⅱ	1後	2				1								
小計(36科目)	-	0	72	0	4	7	1	0	0	0	兼6			

科目区分	専任・兼任	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
経済学分野	専門基盤科目	上級ミクロ経済学	1前	2			1					
		上級マクロ経済学	1前	2			1					
		上級計量経済学	1前	2				1				
		財務会計特論	1後	2			1					
		法制度の経済分析特論	1後	2		1						
		環境経済学特講	1後	2				1				
	小計(6科目)	-	0	12	0	1	2	3	0	0		
	専門発展科目	経済政策演習	2前	2		1						
		社会政策演習	2前	2		1						
		小計(2科目)	-	0	4	0	2	0	0	0	0	
		公共経済学特講	2前	2			1					
		都市政策特講	2前	2			1					1
		行動経済学特講	2前	2								
		ファイナンス論特講	2後	2			1					
恐慌論		2後	2			1						
日本経済特講	2前	2		1								
医療経済学特講	2前	2			1							
ミクロ計量経済学	2前	2								1		
マネジメント特論	2前	2			1					1		
労務管理特論	2後	2			1							
理論経済学演習 I	1通	2				3	2					
応用経済学演習 I	1通	2			4	5						
理論経済学演習 II	2通	2				3	2					
応用経済学演習 II	2通	2			4	5						
小計(14科目)	-	0	28	0	4	8	2	0	0	2		
法学分野	専門基盤科目	憲法学	1前	2			1					
		租税法	1後	2				1				
		特別刑法概論	1後	2					1			
		民法学 I	1前	2			1					
		民法学 II	1後	2			1					
		商法学	1前	2				1				
	小計(6科目)	-	0	12	0	1	2	3	0	0		
	専門発展科目	地域法律実務演習	2通	2		1						
		地域プロジェクト演習	2通	2		1						
		小計(2科目)	-	0	4	0	2	0	0	0	0	
		比較憲法学	2後	2		1						
		行政法学	2前	2			1					
		法人税法特論	2前	2				1				
		社会保障法学	2前	2			1					
刑事手続法学		2前	2			1						
民事手続法特殊研究	2後	2			1							
環境法学	2後	2			1							
公法・刑事法学演習 I	1通	2		2	3	2						
民事法学演習 I	1通	2		3	1	1						
公法・刑事法学演習 II	2通	2		2	3	2						
民事法学演習 II	2通	2		3	1	1						
小計(11科目)	-	0	22	0	5	4	3	0	0			
合計(264科目)	-	0	22	148	0	30	34	7	1	0	10	

卒業要件及び履修方法

- 【人間文化学分野】
2年以上在学し、共通基盤科目群8単位以上、専門基盤科目群10単位以上、専門発展科目群8単位以上履修し、合計30単位以上(自身の所属する分野以外の分野の科目を1科目以上含む)を修得する。かつ当該課程の目的に応じ、修士論文についての研究の成果の審査及び最終試験に合格すること。
- 【心理学分野】
2年以上在学し、共通基盤科目群8単位以上、専門基盤科目群4単位以上、専門発展科目群16単位以上履修し、合計30単位以上(自身の所属する分野以外の分野の科目を1科目以上含む)を修得する。かつ当該課程の目的に応じ、修士論文についての研究の成果の審査及び最終試験に合格すること。
- 【経済学分野】
2年以上在学し、共通基盤科目群8単位以上、専門基盤科目群10単位以上、専門発展科目群8単位以上、合計30単位以上(自身の所属する分野以外の分野の科目を1科目以上含む)を修得する。かつ当該課程の目的に応じ、修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格すること。
- 【法学分野】
2年以上在学し、共通基盤科目群8単位以上、専門基盤科目群10単位以上、専門発展科目群8単位以上、合計30単位以上(自身の所属する分野以外の分野の科目を1科目以上含む)を修得する。かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文を提出してその審査及び最終試験に合格すること。

科目区分	専任・兼任	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
経済学分野	専門基盤科目	上級ミクロ経済学	1前	2			1				
		上級マクロ経済学	1前	2			1				
		上級計量経済学	1前	2				1			
		財務会計特論	1後	2			1				
		法制度の経済分析特論	1後	2		1					
		環境経済学特講	1後	2				1			
	小計(6科目)	-	0	12	0	1	2	3	0	0	
	専門発展科目	経済政策演習	2前	2		1					
		社会政策演習	2前	2		1					
		小計(2科目)	-	0	4	0	2	0	0	0	0
		公共経済学特講	2前	2			1				
		都市政策特講	2前	2			1				
		行動経済学特講	2前	2							1
		ファイナンス論特講	2後	2			1				
恐慌論		2後	2			1					
日本経済特講	2前	2		1							
医療経済学特講	2前	2			1						
ミクロ計量経済学	2前	2							1		
マネジメント特論	2前	2			1				1		
労務管理特論	2後	2			1						
理論経済学演習 I	1通	2				3	2				
応用経済学演習 I	1通	2			4	4					
理論経済学演習 II	2通	2				3	2				
応用経済学演習 II	2通	2			4	4					
小計(14科目)	-	0	28	0	4	7	2	0	0	3	
法学分野	専門基盤科目	憲法学	1前	2			1				
		租税法	1後	2				1			
		特別刑法概論	1後	2					1		
		民法学 I	1前	2			1				
		民法学 II	1後	2			1				
		商法学	1前	2				1			
	小計(6科目)	-	0	12	0	1	2	3	0	0	
	専門発展科目	地域法律実務演習	2通	2		1					
		地域プロジェクト演習	2通	2		1					
		小計(2科目)	-	0	4	0	2	0	0	0	0
		比較憲法学	2後	2		1					
		行政法学	2前	2			1				
		法人税法特論	2前	2				1			
		社会保障法学	2前	2			1				
刑事手続法学		2前	2			1					
民事手続法特殊研究	2後	2			1						
環境法学	2後	2			1						
公法・刑事法学演習 I	1通	2		2	2	2					
民事法学演習 I	1通	2		3	1	1					
公法・刑事法学演習 II	2通	2		2	2	2					
民事法学演習 II	2通	2		3	1	1					
小計(11科目)	-	0	22	0	5	3	3	0	0		
合計(264科目)	-	0	22	148	0	30	32	7	1	0	11

卒業要件及び履修方法

- 【人間文化学分野】
2年以上在学し、共通基盤科目群8単位以上、専門基盤科目群10単位以上、専門発展科目群8単位以上履修し、合計30単位以上(自身の所属する分野以外の分野の科目を1科目以上含む)を修得する。かつ当該課程の目的に応じ、修士論文についての研究の成果の審査及び最終試験に合格すること。
- 【心理学分野】
2年以上在学し、共通基盤科目群8単位以上、専門基盤科目群4単位以上、専門発展科目群16単位以上履修し、合計30単位以上(自身の所属する分野以外の分野の科目を1科目以上含む)を修得する。かつ当該課程の目的に応じ、修士論文についての研究の成果の審査及び最終試験に合格すること。
- 【経済学分野】
2年以上在学し、共通基盤科目群8単位以上、専門基盤科目群10単位以上、専門発展科目群8単位以上、合計30単位以上(自身の所属する分野以外の分野の科目を1科目以上含む)を修得する。かつ当該課程の目的に応じ、修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格すること。
- 【法学分野】
2年以上在学し、共通基盤科目群8単位以上、専門基盤科目群10単位以上、専門発展科目群8単位以上、合計30単位以上(自身の所属する分野以外の分野の科目を1科目以上含む)を修得する。かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文を提出してその審査及び最終試験に合格すること。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任・兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目について、**科目名の後ろに「(未開講)」**として記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「**臨地実務実習**」による授業科目には「【臨】」、「**連携実務演習**」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

・ 教員就任辞退による教員配置の見直しにより、「臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習）」等8科目の教員等配置を変更。

【令和3年度】

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
11 科目	253 科目	0 科目	264 科目	11 科目 [0]	253 科目 [0]	0 科目 [0]	264 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{264} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	539,738㎡	0㎡	0㎡	539,738㎡			
	運動場用地	208,855㎡	0㎡	0㎡	208,855㎡			
	小 計	748,593㎡	0㎡	0㎡	748,593㎡			
	そ の 他	5,692,777㎡	0㎡	0㎡	5,692,777㎡			
	合 計	6,441,370㎡	0㎡	0㎡	6,441,370㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
		436,193㎡ (436,193㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	436,193㎡ (436,193㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		38室	54室	56室	3室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
		総合人文社会科学研究所 総合人文社会科学専攻			68 室			
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部等単位での特定不能なため、大学全体の数
	総合人文社会科学研究所	1,233,325 [359,778]	40,792 [21,672]	13,961 [12,536]	4,329	66,079	147,477	
	総合人文社会科学専攻	(1,233,325 [359,778])	(40,792 [21,672])	(13,961 [12,536])	(4,329)	(66,079)	(147,477)	
	計	1,233,325 [359,778] (1,233,325 [359,778])	40,792 [21,672] (40,792 [21,672])	13,961 [12,536] (13,961 [12,536])	4,329 (4,329)	66,079 (66,079)	147,477 (147,477)	
(6) 図 書 館		面 積		閲 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		13,304㎡		1,639席	977,782冊			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体
		8,085㎡		プール、武道場・弓道場、テニスコート				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	信州大学										備考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人文学部											
人間情報学科	4	—	—	—	学士 (文学)	—	—	—	平成7	長野県松本市旭 3丁目1番1号	平成25年度学生 募集停止
文化コミュニケーション学科	4	—	—	—	学士 (文学)	—	—	—	平成7	同上	平成25年度学生 募集停止
人文学科	4	155	3年次 5	630	学士 (文学)	1.04	1.01	—	平成25	同上	
教育学部										長野県長野市大 字西長野6の口	
学校教育教員養成課程	4	240	—	960	学士 (教育学)	1.02	1.00	—	平成11	同上	
教育カウンセリング課程	4	—	—	—	学士 (教育学)	—	—	—	平成11	同上	平成28年度学生 募集停止
経済学部											
経済学科	4	—	—	—	学士 (経済学)	—	—	—	昭和53	長野県松本市旭 3丁目1番1号	平成28年度学生 募集停止
経済システム法学科	4	—	—	—	学士 (経済学)	—	—	—	平成7	同上	平成28年度学生 募集停止
経法学部											
応用経済学科	4	100	2年次 10	430	学士 (経済学)	1.08	1.04	—	平成28	長野県松本市旭 3丁目1番1号	
総合法律学科	4	80	2年次 10	350	学士 (法学)	1.03	1.02	—	平成28	同上	
理学部											
数理・自然情報科学科	4	—	—	—	学士 (理学)	—	—	—	平成7	長野県松本市旭 3丁目1番1号	平成27年度学生 募集停止
物理科学科	4	—	—	—	学士 (理学)	—	—	—	平成7	同上	平成27年度学生 募集停止
化学科	4	—	—	—	学士 (理学)	—	—	—	平成7	同上	平成27年度学生 募集停止
地質科学科	4	—	—	—	学士 (理学)	—	—	—	平成7	同上	平成27年度学生 募集停止
生物科学科	4	—	—	—	学士 (理学)	—	—	—	平成7	同上	平成27年度学生 募集停止
物質循環学科	4	—	—	—	学士 (理学)	—	—	—	平成7	同上	平成27年度学生 募集停止
数学科	4	54	3年次 1	218	学士 (理学)	1.02	1.00	—	平成27	同上	
理学科	4	151	3年次 3	610	学士 (理学)	1.02	1.03	—	平成27	同上	
医学部											
医学科	6	120	—	720	学士 (医学)	1.00	1.00	令和2	昭和26	長野県松本市旭 3丁目1番1号	定員変更 (15)
保健学科	4	143	3年次 17	606	学士 (看護学) 学士 (保健学)	1.02	1.01	—	平成15	同上	
看護学専攻	4	70	3年次 10	300	学士 (看護学)	1.00	1.00	—	平成15	同上	
検査技術学専攻	4	37	3年次 3	154	学士 (保健学)	1.01	1.00	—	平成15	同上	
理学療法学専攻	4	18	3年次 2	76	学士 (保健学)	1.05	1.05	—	平成15	同上	

作業療法専攻	4	18	3年次 2	76	学士 (保健学)	1.09	1.05	—	平成15	同上	
工学部											
機械システム工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成10	長野県長野市若里4丁目17番1号	平成28年度学生募集停止
電気電子工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成元	同上	平成28年度学生募集停止
土木工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成20	同上	平成28年度学生募集停止
建築学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成20	同上	平成28年度学生募集停止
物質工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成10	同上	平成28年度学生募集停止
情報工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成元	同上	平成28年度学生募集停止
環境機能工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成10	同上	平成28年度学生募集停止
物質化学科	4	95	3年次 4	388	学士 (工学)	1.03	1.02	—	平成28	同上	
電気情報システム工学科	4	170	3年次 7	694	学士 (工学)	1.02	1.02	—	平成28	同上	
水環境・土木工学科	4	60	3年次 3	246	学士 (工学)	1.03	1.03	—	平成28	同上	
機械システム工学科	4	100	3年次 4	408	学士 (工学)	1.03	1.03	—	平成28	同上	
建築学科	4	60	3年次 2	244	学士 (工学)	1.03	1.00	—	平成28	同上	
農学部											
森林科学科	4	—	—	—	学士 (農学)	—	—	—	平成9	長野県上伊那郡南箕輪村8304	平成27年度学生募集停止
応用生命科学科	4	—	—	—	学士 (農学)	—	—	—	平成9	同上	平成27年度学生募集停止
農学生命科学科	4	170	3年次 6	692	学士 (農学)	1.02	1.00	—	平成27	同上	
繊維学部											
先進繊維工学課程	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成20	長野県上田市常田3丁目15番1号	平成28年度学生募集停止
感性工学課程	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成20	同上	平成28年度学生募集停止
機能機械学課程	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成20	同上	平成28年度学生募集停止
バイオエンジニアリング課程	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成20	同上	平成28年度学生募集停止
材料化学工学課程	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成20	同上	平成28年度学生募集停止
機能高分子学課程	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成20	同上	平成28年度学生募集停止
先進繊維・感性工学科	4	65	3年次 2	264	学士 (工学)	1.03	1.06	—	平成28	同上	
機械・ロボット学科	4	60	3年次 2	244	学士 (工学)	1.09	1.10	—	平成28	同上	
化学・材料学科	4	105	3年次 4	428	学士 (工学)	1.05	1.12	—	平成28	同上	
応用生物科学科	4	50	3年次 2	204	学士 (農学)	1.08	1.04	—	平成28	同上	
大学全体	4	1,978	3年次 124 2年次 60	8,336		—					

大学の名称	信州大学大学院										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				
総合人文社会科学研究所					修士 (文学)						
総合人文社会科学専攻	2	36		36	修士 (心理学) 修士 (経済学) 修士 (法学)	0.80	0.80	—	令和2	長野県松本市旭3丁目1番1号 長野県長野市大字西長野6の口	
人文科学研究科											
地域文化専攻	2	—		—	修士 (文学)	—	—	—	昭和57	長野県松本市旭3丁目1番1号	令和2年度学生募集停止
言語文化専攻	2	—		—	修士 (文学)	—	—	—	昭和57	同上	令和2年度学生募集停止
教育学研究科											
高度教職実践専攻	2	30		30	教職修士 (専門職)	1.03	1.03	—	令和2	長野県長野市大字西長野6の口	
教育学研究科											
学校教育専攻	2	—		—	修士 (教育学)	—	—	—	平成3	長野県長野市大字西長野6の口	令和2年度学生募集停止
高度教職実践専攻	2	—		—	教職修士 (専門職)	—	—	—	平成28	同上	令和2年度学生募集停止
経済・社会政策科学研究科											
経済・社会政策科学専攻	2	—		—	修士 (経済学)	—	—	—	平成元	長野県松本市旭3丁目1番1号	令和2年度学生募集停止
イノベーション・マネジメント専攻	2	—		—	修士 (マネジメント)	—	—	—	平成15	長野県長野市若里4丁目17番1号	令和2年度学生募集停止
総合理工学研究科											
理学専攻	2	75	—	150	修士 (理学)	0.86	0.96	—	平成28	長野県松本市旭3丁目1番1号 長野県長野市若里4丁目17番1号	
工学専攻	2	240	—	480	修士 (工学)	1.20	1.14	—	平成28	同上	
繊維学専攻	2	160	—	320	修士 (工学) 修士 (農学)	1.13	1.05	—	平成28	長野県上田市常田3丁目15番1号	
農学専攻	2	65	—	130	修士 (農学)	0.88	0.95	—	平成28	長野県上伊那郡南箕輪村8304	
生命医工学専攻	2	35	—	70	修士 (医工学)	1.09	1.14	—	平成28	長野県松本市旭3丁目1番1号 長野県長野市若里4丁目17番1号 長野県上田市常田3丁目15番1号 長野県上伊那郡南箕輪村8304	
医学系研究科											
医科学専攻(修士課程)	2	12		24	修士 (医科学)	0.70	0.66	—	平成14	長野県松本市旭3丁目1番1号	
保健学専攻(博士前期課程)	2	14		28	修士 (看護学) 修士 (保健学)	1.28	1.28	—	平成19	同上	

医学系専攻（博士課程）	4	—	—	—	博士 (医学)	—	—	—	平成24	同上	平成30年度学生募集停止
疾患予防医科学系専攻（博士課程）	4	—	—	—	博士 (医学)	—	—	—	平成24	同上	平成30年度学生募集停止
医学系専攻（博士課程）	4	—	—	—	博士 (医学)	—	—	—	平成15	同上	平成24年度学生募集停止
臓器移植細胞工学医科学系専攻（博士課程）	4	—	—	—	博士 (医学)	—	—	—	平成12	同上	平成24年度学生募集停止
保健学専攻（博士後期課程）	3	—	—	—	博士 (保健学)	—	—	—	平成21	同上	平成30年度学生募集停止
総合工学系研究科											
生命機能・ファイバー工学専攻	3	—	—	—	博士 (学術) 博士 (理学) 博士 (工学) 博士 (農学)	—	—	—	平成17	長野県松本市旭3丁目1番1号 長野県長野市若里4丁目17番1号 長野県上田市常田3丁目15番1号 長野県上伊那郡南箕輪村8304	平成30年度学生募集停止
システム開発工学専攻	3	—	—	—		—	—	—	平成17		平成30年度学生募集停止
物質創成科学専攻	3	—	—	—		—	—	—	平成17		平成30年度学生募集停止
山岳地域環境科学専攻	3	—	—	—		—	—	—	平成17		平成30年度学生募集停止
生物・食料科学専攻	3	—	—	—		—	—	—	平成17		平成30年度学生募集停止
総合医理工学研究科											
医学系専攻	4, 3	48		144	博士 (医学) 博士 (保健学)	0.96	1.06	—	平成30	長野県松本市旭3丁目1番1号	
総合理工学専攻	3	38		114	博士 (学術) 博士 (理学) 博士 (工学) 博士 (農学)	1.08	0.81	—	平成30	長野県松本市旭3丁目1番1号 長野県長野市若里4丁目17番1号 長野県上田市常田3丁目15番1号 長野県上伊那郡南箕輪村8304	
生命医工学専攻	4, 3	15		45	博士 (医学) 博士 (医工学)	1.26	1.00	—	平成30	同上	
大学院全体	2, 3, 4	768		1,571				—			

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。

（専攻科及び別科を除く）。

- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
- ・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<総合人文社会科学研究科 総合人文社会科学専攻>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	篠原 成彦 <令和2年4月> 文学修士 哲学思想論実践演習Ⅰ(アカデミックリテラシー) 哲学思想論実践演習Ⅱ(イノベーションコンピテンシー) 哲学思想論 哲学思想論総合演習Ⅰ(哲学総合) 哲学思想論ARⅠ(哲学的対話の方法) 哲学思想論研究Ⅰ(心と科学) 哲学思想論研究Ⅱ(言語と形而上学) (研究指導)	専	教授	篠原 成彦 <令和2年4月> 文学修士 哲学思想論実践演習Ⅰ(アカデミックリテラシー) 哲学思想論実践演習Ⅱ(イノベーションコンピテンシー) 哲学思想論 哲学思想論総合演習Ⅰ(哲学総合) 哲学思想論ARⅠ(哲学的対話の方法) 哲学思想論研究Ⅰ(心と科学) 哲学思想論研究Ⅱ(言語と形而上学) (研究指導)
専	教授	早坂 俊廣 <令和2年4月> 文学修士 哲学思想論実践演習Ⅰ(アカデミックリテラシー) 哲学思想論実践演習Ⅱ(イノベーションコンピテンシー) 人文社会科学研究者倫理A 哲学思想論 ※ 哲学思想論総合演習Ⅱ(比較思想) ※ 哲学思想論ARⅡ(哲学的対話の実践) ※ 哲学思想論研究Ⅶ(中国思想) 哲学思想論研究Ⅷ(東洋思想) (研究指導)	専	教授	早坂 俊廣 <令和2年4月> 文学修士 哲学思想論実践演習Ⅰ(アカデミックリテラシー) 哲学思想論実践演習Ⅱ(イノベーションコンピテンシー) 人文社会科学研究者倫理A 哲学思想論 ※ 哲学思想論総合演習Ⅱ(比較思想) ※ 哲学思想論ARⅡ(哲学的対話の実践) ※ 哲学思想論研究Ⅶ(中国思想) 哲学思想論研究Ⅷ(東洋思想) (研究指導)
専	教授	護山 真也 <令和2年4月> 博士(哲学) 哲学思想論実践演習Ⅰ(アカデミックリテラシー) 哲学思想論実践演習Ⅱ(イノベーションコンピテンシー) 哲学思想論 ※ 哲学思想論総合演習Ⅰ(哲学総合) ※ 哲学思想論ARⅠ(哲学的対話の方法) ※ 哲学思想論研究Ⅴ(比較思想の理論) 哲学思想論研究Ⅵ(比較思想の方法) (研究指導)	専	教授	護山 真也 <令和2年4月> 博士(哲学) 哲学思想論実践演習Ⅰ(アカデミックリテラシー) 哲学思想論実践演習Ⅱ(イノベーションコンピテンシー) 哲学思想論 ※ 哲学思想論総合演習Ⅰ(哲学総合) ※ 哲学思想論ARⅠ(哲学的対話の方法) ※ 哲学思想論研究Ⅴ(比較思想の理論) 哲学思想論研究Ⅵ(比較思想の方法) (研究指導)
専	教授	菊池 聡 <令和2年4月> 教育学修士 文化情報論実践演習Ⅰ(内容分析) 文化情報論実践演習Ⅱ(行動調査) 文化情報論・社会学ARⅠ(調査企画設計) ※ 文化情報論・社会学ARⅡ(総合調査法) ※ 社会課題別PBL A 文化情報論・社会学論 ※ 文化情報論研究Ⅰ(批判的思考) 文化情報論研究Ⅱ(科学的懐疑論) (研究指導)	専	教授	菊池 聡 <令和2年4月> 教育学修士 文化情報論実践演習Ⅰ(内容分析) 文化情報論実践演習Ⅱ(行動調査) 文化情報論・社会学ARⅠ(調査企画設計) ※ 文化情報論・社会学ARⅡ(総合調査法) ※ 社会課題別PBL A 文化情報論・社会学論 ※ 文化情報論研究Ⅰ(批判的思考) 文化情報論研究Ⅱ(科学的懐疑論) (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	大串 潤児 <令和2年4月> 修士(教育学)	専	教授	大串 潤児 <令和2年4月> 修士(教育学)
		歴史学論 ※ 歴史学総合演習Ⅰ(日本史学研究法) ※ 歴史学実践演習Ⅰ(史学概論・日本史) ※ 歴史学ARⅠ(史料調査法・日本史) ※ 日本史研究Ⅲ(日本近代史研究) 日本史研究Ⅳ(日本現代史研究)(研究指導)			歴史学論 ※ 歴史学総合演習Ⅰ(日本史学研究法) ※ 歴史学実践演習Ⅰ(史学概論・日本史) ※ 歴史学ARⅠ(史料調査法・日本史) ※ 日本史研究Ⅲ(日本近代史研究) 日本史研究Ⅳ(日本現代史研究)(研究指導)
専	教授	山本 英二 <令和2年4月> 博士(歴史学)	専	教授	山本 英二 <令和2年4月> 博士(歴史学)
		歴史学論 ※ 歴史学総合演習Ⅰ(日本史学研究法) ※ 歴史学実践演習Ⅰ(史学概論・日本史) ※ 歴史学ARⅠ(史料調査法・日本史) ※ 日本史研究Ⅰ(日本近世史研究) 日本史研究Ⅱ(日本近世史料論)(研究指導)			歴史学論 ※ 歴史学総合演習Ⅰ(日本史学研究法) ※ 歴史学実践演習Ⅰ(史学概論・日本史) ※ 歴史学ARⅠ(史料調査法・日本史) ※ 日本史研究Ⅰ(日本近世史研究) 日本史研究Ⅱ(日本近世史料論)(研究指導)
専	教授	山田 健三 <令和2年4月> 文学修士	専	教授	山田 健三 <令和2年4月> 文学修士
		日本語文化論 ※ 日本語文化総合演習Ⅱ(古代日本語文献コミュニケーション論) ※ 日本語実践演習Ⅰ(古代語) 日本語実践演習Ⅱ(近代語) 日本語文化ARⅡ(近代を中心とする日本語文献コミュニケーション論) ※ 日本語学Ⅰ(歴史言語学) 日本語学Ⅱ(言語の社会性)(研究指導)			日本語文化論 ※ 日本語文化総合演習Ⅱ(古代日本語文献コミュニケーション論) ※ 日本語実践演習Ⅰ(古代語) 日本語実践演習Ⅱ(近代語) 日本語文化ARⅡ(近代を中心とする日本語文献コミュニケーション論) ※ 日本語学Ⅰ(歴史言語学) 日本語学Ⅱ(言語の社会性)(研究指導)
専	教授	渡邊 匡一 <令和2年4月> 博士(文学)	専	教授	渡邊 匡一 <令和2年4月> 博士(文学)
		日本語文化論 ※ 日本語文化総合演習Ⅱ(古代日本語文献コミュニケーション論) ※ 日本文学実践演習Ⅰ(韻文) 日本文学実践演習Ⅱ(散文) 日本語文化ARⅡ(近代を中心とする日本語文献コミュニケーション論) ※ 日本文学研究Ⅰ(古代・中世期文学) 日本文学研究Ⅱ(散文)(研究指導)			日本語文化論 ※ 日本語文化総合演習Ⅱ(古代日本語文献コミュニケーション論) ※ 日本文学実践演習Ⅰ(韻文) 日本文学実践演習Ⅱ(散文) 日本語文化ARⅡ(近代を中心とする日本語文献コミュニケーション論) ※ 日本文学研究Ⅰ(古代・中世期文学) 日本文学研究Ⅱ(散文)(研究指導)
専	教授	伊藤 盡 <令和2年4月> 修士(文学)	専	教授	伊藤 盡 <令和2年4月> 修士(文学)
		英米言語文化論 ※ 英米言語文化総合演習Ⅰ(英語学) ※ 英米言語文化総合演習Ⅱ(英米文学文化) ※ 英語学実践演習Ⅰ(英語学概論) 英語学実践演習Ⅱ(英語学方法論研究) 英米言語文化ARⅠ(英語学) ※ 英米言語文化ARⅡ(英米文学文化) ※ 英語学Ⅰ(通時の研究) 英語学Ⅳ(英語テキスト分析)(研究指導)			英米言語文化論 ※ 英米言語文化総合演習Ⅰ(英語学) ※ 英米言語文化総合演習Ⅱ(英米文学文化) ※ 英語学実践演習Ⅰ(英語学概論) 英語学実践演習Ⅱ(英語学方法論研究) 英米言語文化ARⅠ(英語学) ※ 英米言語文化ARⅡ(英米文学文化) ※ 英語学Ⅰ(通時の研究) 英語学Ⅳ(英語テキスト分析)(研究指導)

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等				
		担当授業科目名			担当授業科目名				
専	教授	杉野 健太郎 <令和2年4月> 文学修士 英米言語文化論 ※ 英米言語文化総合演習Ⅰ(英語学) ※ 英米言語文化総合演習Ⅱ(英米文学文化) ※ 英語文学実践演習Ⅰ(イギリス文学文化) 英語文学実践演習Ⅱ(アメリカ文学文化) 英米言語文化ARⅠ(英語学) ※ 英米言語文化ARⅡ(英米文学文化) ※ 英語文学研究Ⅰ(イギリス文学文化) 英語文学研究Ⅲ(アメリカ文学文化) (研究指導)	専	教授	杉野 健太郎 <令和2年4月> 文学修士 英米言語文化論 ※ 英米言語文化総合演習Ⅰ(英語学) ※ 英米言語文化総合演習Ⅱ(英米文学文化) ※ 英語文学実践演習Ⅰ(イギリス文学文化) 英語文学実践演習Ⅱ(アメリカ文学文化) 英米言語文化ARⅠ(英語学) ※ 英米言語文化ARⅡ(英米文学文化) ※ 英語文学研究Ⅰ(イギリス文学文化) 英語文学研究Ⅲ(アメリカ文学文化) (研究指導)				
		氏岡 真士 <令和2年4月> 文学修士 英米言語文化論 ※ 英米言語文化総合演習Ⅰ(英語学) ※ 比較言語文化論 ※ 中国語学・文学実践演習Ⅰ(中国文学) 中国語学・文学実践演習Ⅱ(現代中国語学) 比較言語文化ARⅠ(多文化交流サロン) ※ 比較言語文化ARⅡ(外国語サロン) ※ 中国文学研究Ⅰ(古典詩) 中国文学研究Ⅱ(古典文) (研究指導)			専	教授	氏岡 真士 <令和2年4月> 文学修士 英米言語文化論 ※ 英米言語文化総合演習Ⅰ(英語学) ※ 比較言語文化論 ※ 中国語学・文学実践演習Ⅰ(中国文学) 中国語学・文学実践演習Ⅱ(現代中国語学) 比較言語文化ARⅠ(多文化交流サロン) ※ 比較言語文化ARⅡ(外国語サロン) ※ 中国文学研究Ⅰ(古典詩) 中国文学研究Ⅱ(古典文) (研究指導)		
		鎌田 隆行 <令和2年4月> 文学博士 解析手法論Ⅱ 比較言語文化論 ※ フランス語学・フランス文学実践演習Ⅰ(基礎的方法論) フランス語学・フランス文学実践演習Ⅱ(発展的方法論) 比較言語文化ARⅠ(多文化交流サロン) ※ 比較言語文化ARⅡ(外国語サロン) ※ フランス語学・フランス文学研究Ⅰ(文学と思想) フランス語学・フランス文学研究Ⅱ(文学とメディア) (研究指導)					専	教授	鎌田 隆行 <令和2年4月> 文学博士 解析手法論Ⅱ 比較言語文化論 ※ フランス語学・フランス文学実践演習Ⅰ(基礎的方法論) フランス語学・フランス文学実践演習Ⅱ(発展的方法論) 比較言語文化ARⅠ(多文化交流サロン) ※ 比較言語文化ARⅡ(外国語サロン) ※ フランス語学・フランス文学研究Ⅰ(文学と思想) フランス語学・フランス文学研究Ⅱ(文学とメディア) (研究指導)
		澁谷 豊 <令和2年4月> 博士(比較文学) 人文社会科学修論課題合同発表B 解析手法論Ⅰ 人文社会科学修論課題合同発表A 比較言語文化論 ※ 比較言語文化総合演習Ⅰ(散文) ※ 比較言語文化総合演習Ⅱ(韻文) ※ 比較文学実践演習Ⅰ(詩) 比較文学実践演習Ⅱ(小説) 比較文学研究Ⅲ(近代詩) 比較文学研究Ⅳ(近代小説) (研究指導)							専

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	野津 寛 <令和2年4月> 文学博士 比較言語文化論 ※ 比較文学実践演習Ⅰ(詩) 比較文学実践演習Ⅱ(小説) 比較言語文化ARⅠ(多文化交流サロン) ※ 比較言語文化ARⅡ(外国語サロン) ※ 比較文学研究Ⅰ(西洋古典韻文講読) 比較文学研究Ⅱ(西洋古典散文講読) (研究指導)	専	教授	野津 寛 <令和2年4月> 文学博士 比較言語文化論 ※ 比較文学実践演習Ⅰ(詩) 比較文学実践演習Ⅱ(小説) 比較言語文化ARⅠ(多文化交流サロン) ※ 比較言語文化ARⅡ(外国語サロン) ※ 比較文学研究Ⅰ(西洋古典韻文講読) 比較文学研究Ⅱ(西洋古典散文講読) (研究指導)
専	教授	吉田 正明 <令和2年4月> 文学修士 比較言語文化論 ※ 比較言語文化総合演習Ⅰ(散文) ※ 比較言語文化総合演習Ⅱ(韻文) ※ フランス語学・フランス文学実践演習Ⅰ(基礎的方法論) フランス語学・フランス文学実践演習Ⅱ(発展的方法論) フランス語学・フランス文学研究Ⅲ(詩法) フランス語学・フランス文学研究Ⅳ(19世紀フランス詩研究) (研究指導)	専	教授	吉田 正明 <令和2年4月> 文学修士 比較言語文化論 ※ 比較言語文化総合演習Ⅰ(散文) ※ 比較言語文化総合演習Ⅱ(韻文) ※ フランス語学・フランス文学実践演習Ⅰ(基礎的方法論) フランス語学・フランス文学実践演習Ⅱ(発展的方法論) フランス語学・フランス文学研究Ⅲ(詩法) フランス語学・フランス文学研究Ⅳ(19世紀フランス詩研究) (研究指導)
専	教授	金井 直 <令和2年4月> 博士(文学) 芸術コミュニケーションARⅠ(創作と芸術実践) ※ 解析手法論Ⅱ 芸術コミュニケーション論 ※ 芸術コミュニケーション総合演習Ⅰ(理論と歴史) ※ 芸術コミュニケーション総合演習Ⅱ(個別研究) ※ 芸術コミュニケーション実践演習Ⅰ(リサーチ・ベース) 芸術コミュニケーション実践演習Ⅱ(パブリケーション・ベース) 芸術コミュニケーションARⅡ(芸術実践と展開) ※ 芸術コミュニケーション研究Ⅲ現代美術論 芸術コミュニケーション研究Ⅳ彫刻論 (研究指導)	専	教授	金井 直 <令和2年4月> 博士(文学) 芸術コミュニケーションARⅠ(創作と芸術実践) ※ 解析手法論Ⅱ 芸術コミュニケーション論 ※ 芸術コミュニケーション総合演習Ⅰ(理論と歴史) ※ 芸術コミュニケーション総合演習Ⅱ(個別研究) ※ 芸術コミュニケーション実践演習Ⅰ(リサーチ・ベース) 芸術コミュニケーション実践演習Ⅱ(パブリケーション・ベース) 芸術コミュニケーションARⅡ(芸術実践と展開) ※ 芸術コミュニケーション研究Ⅲ現代美術論 芸術コミュニケーション研究Ⅳ彫刻論 (研究指導)
専	教授	今井 章 <令和2年4月> 博士(心理学) 心理学総合演習 ※ 心理学理論研究 ※ 実験心理学実習 ※ 実験心理学研究 基礎心理学研究 (研究指導)	専	教授	今井 章 <令和2年4月> 博士(心理学) 心理学総合演習 ※ 心理学理論研究 ※ 実験心理学実習 ※ 実験心理学研究 基礎心理学研究 (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	高橋 知音 <令和2年4月> Doctor of Philosophy (米国)	専	教授	高橋 知音 <令和2年4月> Doctor of Philosophy (米国)
		解析手法論Ⅰ・心理統計法特論 人文社会科学研究者倫理B 人文社会科学修論課題合同発表A 人文社会科学修論課題合同発表B 社会課題別PBL A 社会課題別PBL B 臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習) 臨床心理実習Ⅱ 学校カウンセリング総論(福祉分野に関する理論と支援の展開) 社会心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開) 臨床心理学特論Ⅰ※ 臨床心理査定演習Ⅰ(心理的アセスメントに関する理論と実践) 心理学研究指導Ⅰ 心理学研究指導Ⅱ 心理学総合演習Ⅰ 心理学総合演習Ⅱ			解析手法論Ⅰ・心理統計法特論 人文社会科学研究者倫理B 人文社会科学修論課題合同発表A 人文社会科学修論課題合同発表B 社会課題別PBL A 社会課題別PBL B 臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習) 臨床心理実習Ⅱ 学校カウンセリング総論(福祉分野に関する理論と支援の展開) 社会心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開) 臨床心理学特論Ⅰ※ 臨床心理査定演習Ⅰ(心理的アセスメントに関する理論と実践) 心理学研究指導Ⅰ 心理学研究指導Ⅱ 心理学総合演習Ⅰ 心理学総合演習Ⅱ
専	教授	上村 恵津子 <令和2年4月> 博士(心理学)	専	教授	上村 恵津子 <令和2年4月> 博士(心理学)
		人文社会科学研究者倫理B 人文社会科学修論課題合同発表A 人文社会科学修論課題合同発表B 社会課題別PBL A 社会課題別PBL B 臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習) 臨床心理学基礎実習※ 臨床心理実習Ⅱ 学校臨床心理学特論 心理学研究指導Ⅰ 心理学研究指導Ⅱ 心理学総合演習Ⅰ 心理学総合演習Ⅱ			人文社会科学研究者倫理B 人文社会科学修論課題合同発表A 人文社会科学修論課題合同発表B 社会課題別PBL A 社会課題別PBL B 臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習) 臨床心理学基礎実習※ 臨床心理実習Ⅱ 学校臨床心理学特論 心理学研究指導Ⅰ 心理学研究指導Ⅱ 心理学総合演習Ⅰ 心理学総合演習Ⅱ
専	教授	越智 康詞 <令和2年4月> 修士(教育学)	専	教授	越智 康詞 <令和2年4月> 修士(教育学)
		人文社会科学研究者倫理B 人文社会科学修論課題合同発表A 人文社会科学修論課題合同発表B 社会課題別PBL A 社会課題別PBL B 発達・教育心理学実習 人間の精神と社会環境特論 人間の精神と社会環境演習 心理学研究指導Ⅰ 心理学研究指導Ⅱ 心理学総合演習Ⅰ 心理学総合演習Ⅱ			人文社会科学研究者倫理B 人文社会科学修論課題合同発表A 人文社会科学修論課題合同発表B 社会課題別PBL A 社会課題別PBL B 発達・教育心理学実習 人間の精神と社会環境特論 人間の精神と社会環境演習 心理学研究指導Ⅰ 心理学研究指導Ⅱ 心理学総合演習Ⅰ 心理学総合演習Ⅱ
専	教授	島田 英昭 <令和2年4月> 博士(心理学)	専	教授	島田 英昭 <令和2年4月> 博士(心理学)
		解析手法論Ⅰ・心理統計法特論 解析手法論Ⅱ・心理学研究法特論 人文社会科学研究者倫理B 人文社会科学修論課題合同発表A 人文社会科学修論課題合同発表B 社会課題別PBL A 社会課題別PBL B 発達・教育心理学実習 教育心理学特論 教育心理学演習 認知心理学特論 認知心理学演習 心理学研究指導Ⅰ 心理学研究指導Ⅱ 心理学総合演習Ⅰ 心理学総合演習Ⅱ			解析手法論Ⅰ・心理統計法特論 解析手法論Ⅱ・心理学研究法特論 人文社会科学研究者倫理B 人文社会科学修論課題合同発表A 人文社会科学修論課題合同発表B 社会課題別PBL A 社会課題別PBL B 発達・教育心理学実習 教育心理学特論 教育心理学演習 認知心理学特論 認知心理学演習 心理学研究指導Ⅰ 心理学研究指導Ⅱ 心理学総合演習Ⅰ 心理学総合演習Ⅱ
専	教授	山沖 義和 <令和2年4月> 経済学士	専	教授	山沖 義和 <令和2年4月> 経済学士
		経済政策演習 応用経済学演習Ⅰ 応用経済学演習Ⅱ			経済政策演習 応用経済学演習Ⅰ 応用経済学演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	徳井 丞次 ＜令和2年4月＞ 経済学修士 日本経済特講 応用経済学演習Ⅰ 応用経済学演習Ⅱ	専	教授	徳井 丞次 ＜令和2年4月＞ 経済学修士 日本経済特講 応用経済学演習Ⅰ 応用経済学演習Ⅱ
専	教授	宗村 和広 ＜令和2年4月＞ 法学修士 民法学Ⅱ 民法学演習Ⅰ 民法学演習Ⅱ	専	教授	宗村 和広 ＜令和2年4月＞ 法学修士 民法学Ⅱ 民法学演習Ⅰ 民法学演習Ⅱ
専	教授	廣瀬 純夫 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学) 社会課題別PBL A 法制度の経済分析特論 応用経済学演習Ⅰ 応用経済学演習Ⅱ	専	教授	廣瀬 純夫 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学) 社会課題別PBL A 法制度の経済分析特論 応用経済学演習Ⅰ 応用経済学演習Ⅱ
専	教授	井上 信宏 ＜令和2年4月＞ 修士(経済学) 人文社会科学修論課題合同発表A 人文社会科学修論課題合同発表B 社会政策演習 応用経済学演習Ⅰ 応用経済学演習Ⅱ	専	教授	井上 信宏 ＜令和2年4月＞ 修士(経済学) 人文社会科学修論課題合同発表A 人文社会科学修論課題合同発表B 社会政策演習 応用経済学演習Ⅰ 応用経済学演習Ⅱ
専	教授	成澤 孝人 ＜令和2年4月＞ 修士(法学) 比較憲法学 地域法律実務演習 公法・刑事法学演習Ⅰ 公法・刑事法学演習Ⅱ	専	教授	成澤 孝人 ＜令和2年4月＞ 修士(法学) 比較憲法学 地域法律実務演習 公法・刑事法学演習Ⅰ 公法・刑事法学演習Ⅱ
専	教授	河崎 祐子 ＜令和2年4月＞ 博士(法学) 民事手続法特殊研究 民法学演習Ⅰ 民法学演習Ⅱ	専	教授	河崎 祐子 ＜令和2年4月＞ 博士(法学) 民事手続法特殊研究 民法学演習Ⅰ 民法学演習Ⅱ
専	教授	小林 寛 ＜令和2年4月＞ LL.M. in Energy & Enviroment (米国) 環境法学 民法学演習Ⅰ 民法学演習Ⅱ	専	教授	小林 寛 ＜令和2年4月＞ LL.M. in Energy & Enviroment (米国) 環境法学 民法学演習Ⅰ 民法学演習Ⅱ
専	教授	丸橋 昌太郎 ＜令和2年4月＞ 修士(法学) 刑事手続法学 地域プロジェクト演習 公法・刑事法学演習Ⅰ 公法・刑事法学演習Ⅱ	専	教授	丸橋 昌太郎 ＜令和2年4月＞ 修士(法学) 刑事手続法学 地域プロジェクト演習 公法・刑事法学演習Ⅰ 公法・刑事法学演習Ⅱ
専	准教授	三谷 尚澄 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 哲学思想論実践演習Ⅰ(アカデ ミックレテラシー) 哲学思想論実践演習Ⅱ(イノベ ションコンピテンシー) 哲学思想論 ※ 哲学思想論総合演習Ⅱ(比較思 想) ※ 哲学思想論ARⅡ(哲学的対話の実 践) ※ 哲学思想論研究Ⅲ(西洋哲学) 哲学思想論研究Ⅳ(現代哲学) (研究指導)	専	准教授	三谷 尚澄 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 哲学思想論実践演習Ⅰ(アカデ ミックレテラシー) 哲学思想論実践演習Ⅱ(イノベ ションコンピテンシー) 哲学思想論 ※ 哲学思想論総合演習Ⅱ(比較思 想) ※ 哲学思想論ARⅡ(哲学的対話の実 践) ※ 哲学思想論研究Ⅲ(西洋哲学) 哲学思想論研究Ⅳ(現代哲学) (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	佐藤 広英 <令和2年4月> 博士(心理学)	専	准教授	佐藤 広英 <令和2年4月> 博士(心理学)
		文化情報論・社会学総合演習Ⅰ(現代文化) ※ 文化情報論・社会学総合演習Ⅱ(社会情報) ※ 文化情報論実践演習Ⅰ(内容分析) 文化情報論実践演習Ⅱ(行動調査) 文化情報論・社会学ARⅠ(調査企画設計) ※ 文化情報論・社会学ARⅡ(総合調査法) ※ 文化情報論研究Ⅴ(社会的行動) 文化情報論研究Ⅵ(メディアコミュニケーション) (研究指導)			文化情報論・社会学総合演習Ⅰ(現代文化) ※ 文化情報論・社会学総合演習Ⅱ(社会情報) ※ 文化情報論実践演習Ⅰ(内容分析) 文化情報論実践演習Ⅱ(行動調査) 文化情報論・社会学ARⅠ(調査企画設計) ※ 文化情報論・社会学ARⅡ(総合調査法) ※ 文化情報論研究Ⅴ(社会的行動) 文化情報論研究Ⅵ(メディアコミュニケーション) (研究指導)
専	准教授	茅野 恒秀 <令和2年4月> 博士(政策科学)	専	准教授	茅野 恒秀 <令和2年4月> 博士(政策科学)
		社会学実践演習Ⅱ(質的研究法) 文化情報論・社会学ARⅠ(調査企画設計) ※ 文化情報論・社会学ARⅡ(総合調査法) ※ 文化情報論・社会学論 ※ 社会学実践演習Ⅰ(社会学の理論と実証) 社会学研究Ⅰ(社会学理論構築法) 社会学研究Ⅱ(環境・地域社会学) (研究指導)			社会学実践演習Ⅱ(質的研究法) 文化情報論・社会学ARⅠ(調査企画設計) ※ 文化情報論・社会学ARⅡ(総合調査法) ※ 文化情報論・社会学論 ※ 社会学実践演習Ⅰ(社会学の理論と実証) 社会学研究Ⅰ(社会学理論構築法) 社会学研究Ⅱ(環境・地域社会学) (研究指導)
専	准教授	水原 俊博 <令和2年4月> 博士(社会学)	専	准教授	水原 俊博 <令和2年4月> 博士(社会学)
		文化情報論・社会学総合演習Ⅰ(現代文化) ※ 文化情報論・社会学総合演習Ⅱ(社会情報) ※ 文化情報論実践演習Ⅰ(内容分析) 文化情報論実践演習Ⅱ(行動調査) 文化情報論・社会学ARⅠ(調査企画設計) ※ 文化情報論・社会学ARⅡ(総合調査法) ※ 文化情報論研究Ⅲ(多変量解析) 文化情報論研究Ⅳ(消費行動) (研究指導)			文化情報論・社会学総合演習Ⅰ(現代文化) ※ 文化情報論・社会学総合演習Ⅱ(社会情報) ※ 文化情報論実践演習Ⅰ(内容分析) 文化情報論実践演習Ⅱ(行動調査) 文化情報論・社会学ARⅠ(調査企画設計) ※ 文化情報論・社会学ARⅡ(総合調査法) ※ 文化情報論研究Ⅲ(多変量解析) 文化情報論研究Ⅳ(消費行動) (研究指導)
専	准教授	佐藤(田村) 真紀 <令和2年4月> 文学修士	専	准教授	佐藤(田村) 真紀 <令和2年4月> 文学修士
		歴史学論 ※ 歴史学総合演習Ⅱ(西洋史・東洋史学研究法) ※ 歴史学実践演習Ⅱ(史学概論・西洋史・東洋史) 歴史学ARⅡ(史料調査法・西洋史・東洋史) ※ 西洋史研究Ⅰ(経済) 西洋史研究Ⅱ(社会) (研究指導)			歴史学論 ※ 歴史学総合演習Ⅱ(西洋史・東洋史学研究法) ※ 歴史学実践演習Ⅱ(史学概論・西洋史・東洋史) 歴史学ARⅡ(史料調査法・西洋史・東洋史) ※ 西洋史研究Ⅰ(経済) 西洋史研究Ⅱ(社会) (研究指導)
専	准教授	豊岡 康史 <令和2年4月> 博士(文学)	専	准教授	豊岡 康史 <令和2年4月> 博士(文学)
		歴史学論 ※ 歴史学総合演習Ⅱ(西洋史・東洋史学研究法) ※ 歴史学実践演習Ⅱ(史学概論・西洋史・東洋史) 歴史学ARⅡ(史料調査法・西洋史・東洋史) ※ 東洋史研究Ⅰ(アジア近世・近代史) 東洋史研究Ⅱ(中国近世・近代史) (研究指導)			歴史学論 ※ 歴史学総合演習Ⅱ(西洋史・東洋史学研究法) ※ 歴史学実践演習Ⅱ(史学概論・西洋史・東洋史) 歴史学ARⅡ(史料調査法・西洋史・東洋史) ※ 東洋史研究Ⅰ(アジア近世・近代史) 東洋史研究Ⅱ(中国近世・近代史) (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	坂口 和寛 <令和2年4月> 修士(文学)	専	准教授	坂口 和寛 <令和2年4月> 修士(文学)
		日本語文化総合演習Ⅰ※ (異文化としての日本語・日本文学) 日本語教育学実践演習Ⅰ(言語研究と言語教育) 日本語教育学実践演習Ⅱ(第二言語習得・学習) 日本語文化ARⅠ(コミュニケーションツールとしての日本語・日本文学)※ 日本語教育学研究Ⅰ(第二言語指導の理論と技術) 日本語教育学研究Ⅱ(第二言語学習者の特性) (研究指導)			日本語文化総合演習Ⅰ※ (異文化としての日本語・日本文学) 日本語教育学実践演習Ⅰ(言語研究と言語教育) 日本語教育学実践演習Ⅱ(第二言語習得・学習) 日本語文化ARⅠ(コミュニケーションツールとしての日本語・日本文学)※ 日本語教育学研究Ⅰ(第二言語指導の理論と技術) 日本語教育学研究Ⅱ(第二言語学習者の特性) (研究指導)
専	准教授	速水 香織 <令和2年4月> 博士(文学)	専	准教授	速水 香織 <令和2年4月> 博士(文学)
		日本語文化総合演習Ⅰ※ (異文化としての日本語・日本文学) 日本文学実践演習Ⅰ(韻文) 日本文学実践演習Ⅱ(散文) 日本語文化ARⅠ(コミュニケーションツールとしての日本語・日本文学)※ 日本文学研究Ⅲ(近世・明治期文学) 日本文学研究Ⅳ(韻文) (研究指導)			日本語文化総合演習Ⅰ※ (異文化としての日本語・日本文学) 日本文学実践演習Ⅰ(韻文) 日本文学実践演習Ⅱ(散文) 日本語文化ARⅠ(コミュニケーションツールとしての日本語・日本文学)※ 日本文学研究Ⅲ(近世・明治期文学) 日本文学研究Ⅳ(韻文) (研究指導)
専	准教授	飯岡 詩朗 <令和2年4月> 文学修士	専	准教授	飯岡 詩朗 <令和2年4月> 文学修士
		解析手法論Ⅰ 英米言語文化論※ 英米言語文化総合演習Ⅰ(英語学)※ 英米言語文化総合演習Ⅱ(英米文学文化)※ 英語文学実践演習Ⅰ(イギリス文学文化) 英語文学実践演習Ⅱ(アメリカ文学文化) 英米言語文化ARⅠ(英語学)※ 英米言語文化ARⅡ(英米文学文化)※ 英語文学研究Ⅱ(英語圏文化と映画) 英語文学研究Ⅳ(英語圏文化批評と映画) (研究指導)			解析手法論Ⅰ 英米言語文化論※ 英米言語文化総合演習Ⅰ(英語学)※ 英米言語文化総合演習Ⅱ(英米文学文化)※ 英語文学実践演習Ⅰ(イギリス文学文化) 英語文学実践演習Ⅱ(アメリカ文学文化) 英米言語文化ARⅠ(英語学)※ 英米言語文化ARⅡ(英米文学文化)※ 英語文学研究Ⅱ(英語圏文化と映画) 英語文学研究Ⅳ(英語圏文化批評と映画) (研究指導)
専	准教授	磯部 美穂 <令和2年4月> 文学博士	専	准教授	磯部 美穂 <令和2年4月> 文学博士
		解析手法論Ⅰ 比較言語文化論※ ドイツ語学・ドイツ文学実践演習Ⅰ(ドイツ語学研究) ドイツ語学・ドイツ文学実践演習Ⅱ(文学研究方法論) 比較言語文化ARⅠ(多文化交流サロン)※ 比較言語文化ARⅡ(外国語サロン)※ ドイツ語学・ドイツ文学研究Ⅰ(ドイツ語造語論) ドイツ語学・ドイツ文学研究Ⅱ(ドイツ語テキスト分析) (研究指導)			解析手法論Ⅰ 比較言語文化論※ ドイツ語学・ドイツ文学実践演習Ⅰ(ドイツ語学研究) ドイツ語学・ドイツ文学実践演習Ⅱ(文学研究方法論) 比較言語文化ARⅠ(多文化交流サロン)※ 比較言語文化ARⅡ(外国語サロン)※ ドイツ語学・ドイツ文学研究Ⅰ(ドイツ語造語論) ドイツ語学・ドイツ文学研究Ⅱ(ドイツ語テキスト分析) (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	伊藤 加奈子 <令和2年4月> 文学修士 比較言語文化論 ※ 比較言語文化総合演習Ⅰ(散文) ※ 比較言語文化総合演習Ⅱ(韻文) ※ 中国語学・文学実践演習Ⅰ(中国語学) 中国語学・文学実践演習Ⅱ(現代中国語学) 中国語学研究Ⅰ(現代中国語文法) 中国語学研究Ⅱ(現代中国語意味論) (研究指導)	専	准教授	伊藤 加奈子 <令和2年4月> 文学修士 比較言語文化論 ※ 比較言語文化総合演習Ⅰ(散文) ※ 比較言語文化総合演習Ⅱ(韻文) ※ 中国語学・文学実践演習Ⅰ(中国語学) 中国語学・文学実践演習Ⅱ(現代中国語学) 中国語学研究Ⅰ(現代中国語文法) 中国語学研究Ⅱ(現代中国語意味論) (研究指導)
専	准教授	北村 明子 <令和2年4月> 修士(文学) 芸術コミュニケーションARⅠ(創作と芸術実践) ※ 芸術コミュニケーション論 ※ 芸術コミュニケーション総合演習Ⅰ(理論と歴史) ※ 芸術コミュニケーション総合演習Ⅱ(個別研究) ※ 芸術コミュニケーション実践演習Ⅰ(リサーチ・ベース) 芸術コミュニケーション実践演習Ⅱ(パブリケーション・ベース) 芸術コミュニケーションARⅡ(芸術実践と展開) ※ 芸術コミュニケーション研究Ⅰ(現代舞踊論) 芸術コミュニケーション研究Ⅱ(身体論) (研究指導)	専	准教授	北村 明子 <令和2年4月> 修士(文学) 芸術コミュニケーションARⅠ(創作と芸術実践) ※ 芸術コミュニケーション論 ※ 芸術コミュニケーション総合演習Ⅰ(理論と歴史) ※ 芸術コミュニケーション総合演習Ⅱ(個別研究) ※ 芸術コミュニケーション実践演習Ⅰ(リサーチ・ベース) 芸術コミュニケーション実践演習Ⅱ(パブリケーション・ベース) 芸術コミュニケーションARⅡ(芸術実践と展開) ※ 芸術コミュニケーション研究Ⅰ(現代舞踊論) 芸術コミュニケーション研究Ⅱ(身体論) (研究指導)
専	准教授	濱崎(元山)友絵 <令和2年4月> 修士(音楽学) 芸術コミュニケーションARⅠ(創作と芸術実践) ※ 解析手法論Ⅰ 社会課題別PBL B 芸術コミュニケーション論 ※ 芸術コミュニケーション総合演習Ⅰ(理論と歴史) ※ 芸術コミュニケーション総合演習Ⅱ(個別研究) ※ 芸術コミュニケーション実践演習Ⅰ(リサーチ・ベース) 芸術コミュニケーション実践演習Ⅱ(パブリケーション・ベース) 芸術コミュニケーションARⅡ(芸術実践と展開) ※ 芸術コミュニケーション研究Ⅴ(音楽学研究) 芸術コミュニケーション研究Ⅵ(音楽と社会) (研究指導)	専	准教授	濱崎(元山)友絵 <令和2年4月> 修士(音楽学) 芸術コミュニケーションARⅠ(創作と芸術実践) ※ 解析手法論Ⅰ 社会課題別PBL B 芸術コミュニケーション論 ※ 芸術コミュニケーション総合演習Ⅰ(理論と歴史) ※ 芸術コミュニケーション総合演習Ⅱ(個別研究) ※ 芸術コミュニケーション実践演習Ⅰ(リサーチ・ベース) 芸術コミュニケーション実践演習Ⅱ(パブリケーション・ベース) 芸術コミュニケーションARⅡ(芸術実践と展開) ※ 芸術コミュニケーション研究Ⅴ(音楽学研究) 芸術コミュニケーション研究Ⅵ(音楽と社会) (研究指導)
専	准教授	高瀬 弘樹 <令和2年4月> 博士(人間科学) 心理学総合演習 ※ 心理学理論研究 ※ 実験心理学実習 ※ 認知心理学研究 生理心理学研究 (研究指導)	専	准教授	高瀬 弘樹 <令和2年4月> 博士(人間科学) 心理学総合演習 ※ 心理学理論研究 ※ 実験心理学実習 ※ 認知心理学研究 生理心理学研究 (研究指導)
専	准教授	岡本 卓也 <令和2年4月> 博士(社会学) 心理学総合演習 ※ 心理学理論研究 ※ 社会心理学実習 社会心理学研究 グループダイナミックス (研究指導)	専	准教授	岡本 卓也 <令和2年4月> 博士(社会学) 心理学総合演習 ※ 心理学理論研究 ※ 社会心理学実習 社会心理学研究 グループダイナミックス (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	茅野 理恵 <令和2年4月> 修士(教育学)	専	准教授	茅野 理恵 <令和2年4月> 修士(教育学)
		人文社会科学研究者倫理B 人文社会科学修論課題合同発表A 人文社会科学修論課題合同発表B 社会課題別PBL A 社会課題別PBL B 臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習) 臨床心理学基礎実習 ※ 臨床心理実習Ⅱ 学校臨床心理学演習(教育分野に関する理論と支援の展開) 心の健康教育に関する理論と実践 臨床心理学特論Ⅰ ※ 臨床心理面接特論Ⅱ 心理学研究指導Ⅰ 心理学研究指導Ⅱ 心理学総合演習Ⅰ 心理学総合演習Ⅱ			人文社会科学研究者倫理B 人文社会科学修論課題合同発表A 人文社会科学修論課題合同発表B 社会課題別PBL A 社会課題別PBL B 臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習) 臨床心理学基礎実習 ※ 臨床心理実習Ⅱ 学校臨床心理学演習(教育分野に関する理論と支援の展開) 心の健康教育に関する理論と実践 臨床心理学特論Ⅰ ※ 臨床心理面接特論Ⅱ 心理学研究指導Ⅰ 心理学研究指導Ⅱ 心理学総合演習Ⅰ 心理学総合演習Ⅱ
		水口 崇 <令和2年4月> 博士(教育学)			水口 崇 <令和2年4月> 博士(教育学)
		人文社会科学研究者倫理B 人文社会科学修論課題合同発表A 人文社会科学修論課題合同発表B 社会課題別PBL A 社会課題別PBL B 発達・教育心理学実習 発達心理学特論 発達心理学演習 心理学研究指導Ⅰ 心理学研究指導Ⅱ 心理学総合演習Ⅰ 心理学総合演習Ⅱ			人文社会科学研究者倫理B 人文社会科学修論課題合同発表A 人文社会科学修論課題合同発表B 社会課題別PBL A 社会課題別PBL B 発達・教育心理学実習 発達心理学特論 発達心理学演習 心理学研究指導Ⅰ 心理学研究指導Ⅱ 心理学総合演習Ⅰ 心理学総合演習Ⅱ
専	准教授	高柳 充利 <令和2年4月> 修士(文学)	専	准教授	高柳 充利 <令和2年4月> 修士(文学)
		人文社会科学研究者倫理B 人文社会科学修論課題合同発表A 人文社会科学修論課題合同発表B 社会課題別PBL A 社会課題別PBL B 発達・教育心理学実習 人間形成論特論 人間形成論演習 心理学研究指導Ⅰ 心理学研究指導Ⅱ 心理学総合演習Ⅰ 心理学総合演習Ⅱ			人文社会科学研究者倫理B 人文社会科学修論課題合同発表A 人文社会科学修論課題合同発表B 社会課題別PBL A 社会課題別PBL B 発達・教育心理学実習 人間形成論特論 人間形成論演習 心理学研究指導Ⅰ 心理学研究指導Ⅱ 心理学総合演習Ⅰ 心理学総合演習Ⅱ
		友川(三宅) 幸 <令和2年4月> 博士(保健学)			友川(三宅) 幸 <令和2年4月> 博士(保健学)
		人文社会科学研究者倫理B 人文社会科学修論課題合同発表A 人文社会科学修論課題合同発表B 社会課題別PBL A 社会課題別PBL B 発達・教育心理学実習 国際精神保健学特論 国際精神保健学演習 心理学研究指導Ⅰ 心理学研究指導Ⅱ 心理学総合演習Ⅰ 心理学総合演習Ⅱ			人文社会科学研究者倫理B 人文社会科学修論課題合同発表A 人文社会科学修論課題合同発表B 社会課題別PBL A 社会課題別PBL B 発達・教育心理学実習 国際精神保健学特論 国際精神保健学演習 心理学研究指導Ⅰ 心理学研究指導Ⅱ 心理学総合演習Ⅰ 心理学総合演習Ⅱ
専	准教授	高橋 史 <令和2年4月> 博士(人間科学)	専	准教授	高橋 史 <令和2年4月> 博士(人間科学)
		人文社会科学研究者倫理B 人文社会科学修論課題合同発表A 人文社会科学修論課題合同発表B 社会課題別PBL A 社会課題別PBL B 臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習) 臨床心理学基礎実習 ※ 臨床心理実習Ⅱ 臨床心理学特論Ⅱ 臨床心理面接特論Ⅰ (心理支援に関する理論と実践) 心理学研究指導Ⅰ 心理学研究指導Ⅱ 心理学総合演習Ⅰ 心理学総合演習Ⅱ			人文社会科学研究者倫理B 人文社会科学修論課題合同発表A 人文社会科学修論課題合同発表B 社会課題別PBL A 社会課題別PBL B 臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習) 臨床心理学基礎実習 ※ 臨床心理実習Ⅱ 臨床心理学特論Ⅱ 臨床心理面接特論Ⅰ (心理支援に関する理論と実践) 心理学研究指導Ⅰ 心理学研究指導Ⅱ 心理学総合演習Ⅰ 心理学総合演習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	小野 貴史 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)	専	准教授	小野 貴史 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		人文社会科学研究者倫理B 人文社会科学修論課題合同発表A 人文社会科学修論課題合同発表B 社会課題別PBL A 社会課題別PBL B 発達・教育心理学実習 音楽心理学特論 音楽心理学演習 心理学研究指導 I 心理学研究指導 II 心理学総合演習 I 心理学総合演習 II			人文社会科学研究者倫理B 人文社会科学修論課題合同発表A 人文社会科学修論課題合同発表B 社会課題別PBL A 社会課題別PBL B 発達・教育心理学実習 音楽心理学特論 音楽心理学演習 心理学研究指導 I 心理学研究指導 II 心理学総合演習 I 心理学総合演習 II
専	准教授	森下 孟 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)	専	准教授	森下 孟 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		人文社会科学研究者倫理B 人文社会科学修論課題合同発表A 人文社会科学修論課題合同発表B 社会課題別PBL A 社会課題別PBL B 発達・教育心理学実習 認知工学特論 認知工学演習 心理学研究指導 I 心理学研究指導 II 心理学総合演習 I 心理学総合演習 II			人文社会科学研究者倫理B 人文社会科学修論課題合同発表A 人文社会科学修論課題合同発表B 社会課題別PBL A 社会課題別PBL B 発達・教育心理学実習 認知工学特論 認知工学演習 心理学研究指導 I 心理学研究指導 II 心理学総合演習 I 心理学総合演習 II
専	准教授	吉村 信之 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学)	専	准教授	吉村 信之 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学)
		恐慌論 理論経済学演習 I 理論経済学演習 II			恐慌論 理論経済学演習 I 理論経済学演習 II
専	准教授	関(滝沢) 利恵子 ＜令和2年4月＞ 博士(経営学)	専	准教授	関(滝沢) 利恵子 ＜令和2年4月＞ 博士(経営学)
		財務会計特論 応用経済学演習 I 応用経済学演習 II			財務会計特論 応用経済学演習 I 応用経済学演習 II
専	准教授	岩田 一哲 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学)	兼任	講師	岩田 一哲 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学)
		労務管理特講 マネジメント特論 応用経済学演習 I 応用経済学演習 II			労務管理特講 マネジメント特論
専	准教授	赤川 理 ＜令和2年4月＞ 修士(法学)	専	准教授	赤川 理 ＜令和2年4月＞ 修士(法学)
		憲法学 公法・刑事法学演習 I 公法・刑事法学演習 II			憲法学 公法・刑事法学演習 I 公法・刑事法学演習 II
専	准教授	武者 忠彦 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)	専	准教授	武者 忠彦 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		都市政策特講 応用経済学演習 I 応用経済学演習 II			都市政策特講 応用経済学演習 I 応用経済学演習 II
専	准教授	青木 周平 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学)	専	准教授	青木 周平 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学)
		上級マクロ経済学 理論経済学演習 I 理論経済学演習 II			上級マクロ経済学 理論経済学演習 I 理論経済学演習 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	都築 幸宏 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学) ファイナンス論特講 理論経済学演習Ⅰ 理論経済学演習Ⅱ
専	准教授	増原 宏明 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学) 社会課題別PBL B 医療経済学特講 応用経済学演習Ⅰ 応用経済学演習Ⅱ
専	准教授	大江 裕幸 ＜令和2年4月＞ 修士(法学) 行政法学 公法・刑事法学演習Ⅰ 公法・刑事法学演習Ⅱ
専	准教授	大野 太郎 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学) 公共経済学特講 応用経済学演習Ⅰ 応用経済学演習Ⅱ
専	准教授	栗田 晶 ＜令和2年4月＞ 修士(法学) 人文社会科学研究者倫理A 民法学Ⅰ 民法学演習Ⅰ 民法学演習Ⅱ
専	准教授	島村(武永)暁代 ＜令和2年4月＞ 法務博士(専門職) 社会保障法学 公法・刑事法学演習Ⅰ 公法・刑事法学演習Ⅱ
専	講師	瀧 直也 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学) 人文社会科学研究者倫理B 人文社会科学修論課題合同発表A 人文社会科学修論課題合同発表B 社会課題別PBL A 社会課題別PBL B 社会課題別PBL B 発達・教育心理学実習 野外教育グループカウンセリング 特論 野外教育グループカウンセリング 演習 心理学総合演習Ⅰ 心理学研究指導Ⅰ 心理学研究指導Ⅱ 心理学総合演習Ⅱ
専	講師	矢部 竜太 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学) 解析手法論Ⅰ 解析手法論Ⅱ 上級計量経済学 理論経済学演習Ⅰ 理論経済学演習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	都築 幸宏 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学) ファイナンス論特講 理論経済学演習Ⅰ 理論経済学演習Ⅱ
専	准教授	増原 宏明 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学) 社会課題別PBL B 医療経済学特講 応用経済学演習Ⅰ 応用経済学演習Ⅱ
専	准教授	大江 裕幸 ＜令和2年4月＞ 修士(法学) 行政法学 公法・刑事法学演習Ⅰ 公法・刑事法学演習Ⅱ
専	准教授	大野 太郎 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学) 公共経済学特講 応用経済学演習Ⅰ 応用経済学演習Ⅱ
専	准教授	栗田 晶 ＜令和2年4月＞ 修士(法学) 人文社会科学研究者倫理A 民法学Ⅰ 民法学演習Ⅰ 民法学演習Ⅱ
兼任	講師	島村(武永)暁代 ＜令和2年4月＞ 法務博士(専門職) 社会保障法学
専	講師	瀧 直也 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学) 人文社会科学研究者倫理B 人文社会科学修論課題合同発表A 人文社会科学修論課題合同発表B 社会課題別PBL A 社会課題別PBL B 社会課題別PBL B 発達・教育心理学実習 野外教育グループカウンセリング 特論 野外教育グループカウンセリング 演習 心理学総合演習Ⅰ 心理学研究指導Ⅰ 心理学研究指導Ⅱ 心理学総合演習Ⅱ
専	講師	矢部 竜太 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学) 解析手法論Ⅰ 解析手法論Ⅱ 上級計量経済学 理論経済学演習Ⅰ 理論経済学演習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	講師	橋本(西岡) 彩 ＜令和2年4月＞ 法務博士(専門職) 人文社会科学修論課題合同発表A 人文社会科学修論課題合同発表B 租税法 法人税法特論 公法・刑事法学演習Ⅰ 公法・刑事法学演習Ⅱ	専	講師	橋本(西岡) 彩 ＜令和2年4月＞ 法務博士(専門職) 人文社会科学修論課題合同発表A 人文社会科学修論課題合同発表B 租税法 法人税法特論 公法・刑事法学演習Ⅰ 公法・刑事法学演習Ⅱ
専	講師	坂東 桂介 ＜令和2年4月＞ 博士(工学) 上級ミクロ経済学 理論経済学演習Ⅰ 理論経済学演習Ⅱ	専	講師	坂東 桂介 ＜令和2年4月＞ 博士(工学) 上級ミクロ経済学 理論経済学演習Ⅰ 理論経済学演習Ⅱ
専	講師	八木 迪幸 ＜令和2年4月＞ 博士(環境科学) 環境経済学特講	専	講師	八木 迪幸 ＜令和2年4月＞ 博士(環境科学) 環境経済学特講
専	講師	濱田(石川) 新 ＜令和2年4月＞ 修士(法学) 特別刑法概論 公法・刑事法学演習Ⅰ 公法・刑事法学演習Ⅱ	専	講師	濱田(石川) 新 ＜令和2年4月＞ 修士(法学) 特別刑法概論 公法・刑事法学演習Ⅰ 公法・刑事法学演習Ⅱ
専	講師	寺前 慎太郎 ＜令和2年4月＞ 修士(法学) 商法学 民事法学演習Ⅰ 民事法学演習Ⅱ	専	講師	寺前 慎太郎 ＜令和2年4月＞ 修士(法学) 商法学 民事法学演習Ⅰ 民事法学演習Ⅱ
専	助教	葛西 敬之 ＜令和2年4月＞ 修士(文学) 比較言語文化論 ※ 比較言語文化総合演習Ⅰ(散文) ※ 比較言語文化総合演習Ⅱ(韻文) ※ ドイツ語学・ドイツ文学実践演習Ⅰ(ドイツ語学研究) ドイツ語学・ドイツ文学実践演習Ⅱ(文学研究方法論) ドイツ語学・ドイツ文学研究Ⅲ(20世紀ドイツ文学) ドイツ語学・ドイツ文学研究Ⅳ(ドイツ文学と記憶) (研究指導)	専	助教	葛西 敬之 ＜令和2年4月＞ 修士(文学) 比較言語文化論 ※ 比較言語文化総合演習Ⅰ(散文) ※ 比較言語文化総合演習Ⅱ(韻文) ※ ドイツ語学・ドイツ文学実践演習Ⅰ(ドイツ語学研究) ドイツ語学・ドイツ文学実践演習Ⅱ(文学研究方法論) ドイツ語学・ドイツ文学研究Ⅲ(20世紀ドイツ文学) ドイツ語学・ドイツ文学研究Ⅳ(ドイツ文学と記憶) (研究指導)
兼任	教授	加藤 鉦三 ＜令和2年4月＞ 文学修士 英語学研究Ⅱ(共時の研究) 英語学研究Ⅲ(英語構造論)	兼任	教授	加藤 鉦三 ＜令和2年4月＞ 文学修士 英語学研究Ⅱ(共時の研究) 英語学研究Ⅲ(英語構造論)
兼任	准教授	安達 仁美 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学) 人文社会科学研究者倫理B 人文社会科学修論課題合同発表A 人文社会科学修論課題合同発表B 社会課題別PBLA 社会課題別PBLB 発達・教育心理学実習 学習過程論特論 学習過程論演習	兼任	准教授	安達 仁美 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学) 人文社会科学研究者倫理B 人文社会科学修論課題合同発表A 人文社会科学修論課題合同発表B 社会課題別PBLA 社会課題別PBLB 発達・教育心理学実習 学習過程論特論 学習過程論演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	林 寛平 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)	兼任	准教授	林 寛平 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		人文社会科学研究者倫理B 人文社会科学修論課題合同発表A 人文社会科学修論課題合同発表B 社会課題別PBLA 社会課題別PBLB 発達・教育心理学実習 比較教育学特論 比較教育学演習			人文社会科学研究者倫理B 人文社会科学修論課題合同発表A 人文社会科学修論課題合同発表B 社会課題別PBLA 社会課題別PBLB 発達・教育心理学実習 比較教育学特論 比較教育学演習
兼任	講師	栗林 千聡 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学)			
		臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習)			
兼任	講師	武部 匡也 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学)	兼任	講師	武部 匡也 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学)
		家族心理学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)			家族心理学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)
兼任	講師	片受 靖 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)	兼任	講師	片受 靖 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開			司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開
兼任	講師	吉野 真紀 ＜令和2年4月＞ 修士(学術)	兼任	講師	吉野 真紀 ＜令和2年4月＞ 修士(学術)
		臨床心理査定演習Ⅱ			臨床心理査定演習Ⅱ
兼任	講師	横山 知行 ＜令和2年4月＞ 博士(医学)	兼任	講師	横山 知行 ＜令和2年4月＞ 博士(医学)
		精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)			精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)
兼任	講師	西村(山本)直子 ＜令和2年4月＞ Ph. D. in economics(米国)	兼任	講師	西村(山本)直子 ＜令和2年4月＞ Ph. D. in economics(米国)
		行動経済学特講			行動経済学特講
兼任	講師	椎名 洋 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学)	兼任	講師	椎名 洋 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学)
		ミクロ計量経済学			ミクロ計量経済学

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

・教員就任辞退による教員配置の見直しにより、「臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習）」等8科目の教員等配置を変更。

【令和3年度】

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
16 名	12 名	14 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
30	34	7	1	72	0	30	32	7	1	70	0
(30)	(34)	(7)	(1)	(72)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
68	3	1				66	3	1			
(68)	(3)	(1)				(66)	(3)	(1)			
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
30	32	7	1	70	0	34	38	2	5	79	0
[0]	[Δ2]	[0]	[0]	[Δ2]	[]	[4]	[4]	[Δ5]	[4]	[7]	[]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
66	3	1				75	3	1			
[0]	[0]	[0]				[7]	[0]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を要審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定 年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員のう ち、定年を延長して 採用している教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長して 採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{70}{72} = \boxed{97.22} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{70} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	准教授	岩田 一哲	R2.3	選択	労務管理特講	②	退職のため就任辞退（2）			
				選択	マネジメント特論	②				
				選択	応用経済学演習Ⅰ	①				
				選択	応用経済学演習Ⅱ	①				
2	准教授	島村（武永）暁代	R2.3	選択	社会保障法学	②	退職のため就任辞退（2）			
				選択	公法・刑事法学演習Ⅰ	①				
				選択	公法・刑事法学演習Ⅱ	①				
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
2	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	7	科目	選択	4	科目	選択	3	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	7	科目	計	4	科目	計	3	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
2 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	7 科目	選択	4 科目	選択	3 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	7 科目	計	4 科目	計	3 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{2}{72} = \boxed{2.77} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし							
合計					後任補充状況の集計				
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当科目については、就任辞退した教員が兼任教員として授業にあたるため、問題ない。学生への周知については、資料等にて周知済み。なお、令和3年度に向けて専任教員を公募中である。

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後 の実施計画
認 可 時 (令和元年)	「社会課題別PBL」及び「人文社会科学修論課題合同発表」については、学生への教育効果は高いと思われるが、その分、学生指導や発表会への参加・準備など教員への負担が大きくなることが予想されるので、本取組が持続的なものとなるよう教員の負担軽減に努めることが望ましい。	助言事項 総合人文社会科学研究所設置準備検討WGを立ち上げ、教務や入試、授業の運営方法に係わる事項について検討した。そのなかで、「社会課題別PBL」及び「人文社会科学修論課題合同発表」に関する要因の負担軽減についても検討を行った	履行中 「社会課題別PBL」及び「人文社会科学修論課題合同発表」については、実際の学生構成等を勘案して、それぞれのグループの分け方や教員の割り振り方を工夫することとした。また、遠隔授業システムをより一層充実させ、教員の負担軽減にさらに努めることとした。
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	「社会課題別PBL」及び「人文社会科学修論課題合同発表」については、学生への教育効果は高いと思われるが、その分、学生指導や発表会への参加・準備など教員への負担が大きくなることが予想されるので、本取組が持続的なものとなるよう教員の負担軽減に努めることが望ましい。	助言事項 教員の負担軽減を図るため、2020年3月に各地の拠点間の教員の移動を減じる効果のある遠隔授業システムを250万円程度で整備した。 (別添 資料1 参照) これに加えて、新型コロナウイルス感染症の流行もあり、Zoomの導入など、更なる遠隔授業システムの導入を図ることとして法人契約を進めているところ。 学生指導の方法や教員の割振りの仕方について検討するため、2020年4月2日に代議員会の下に分野長会議を設置した。 (別添 資料2 参照)	履行中 遠隔授業システム導入の効果を確認しながら、最適な組合せによって運用していく。また、遠隔授業システムを前提としたグループ運営や授業管理について、さらに検討を続けていく。 分野長会議において、学生指導の方法や教員の割振りの仕方について検討する。

<p>認可時 (令和元年)</p>	<p>「人文社会科学修論課題合同発表」の成績評価について、基準が抽象的であり、学生に求める水準が不明確なので、例えばルーブリックを作成するなどして、より客観性を高めたい。関連して、本科目では、基本的に学生全員が発表を行うものと見受けられるが、学生に対して、そのことが明確になるよう周知を行うとともに、当該発表を行うために求められる水準やその水準にあるということの確認方法について分かりやすく説明することが望ましい。</p>	<p>助言事項</p>	<p>総合人文社会科学研究所設置準備検討WGで検討を行うとともに、新年度開始以降も、継続審議することとした。</p>	<p>履行中</p>	<p>「人文社会科学修論課題合同発表」について、一年次に履修する「人文社会科学修論課題合同発表A」（選択）と二年次に履修する「人文社会科学修論課題合同発表B」（必修）とでは、かなり性質が異なるので、そこを区別して対応を検討することとした。</p>
<p>設置計画履行状況調査時 (令和2年)</p>	<p>「人文社会科学修論課題合同発表」の成績評価について、基準が抽象的であり、学生に求める水準が不明確なので、例えばルーブリックを作成するなどして、より客観性を高めたい。関連して、本科目では、基本的に学生全員が発表を行うものと見受けられるが、学生に対して、そのことが明確になるよう周知を行うとともに、当該発表を行うために求められる水準やその水準にあるということの確認方法について分かりやすく説明することが望ましい。</p>	<p>助言事項</p>	<p>2020年度は1年生後期に「人文社会科学修論課題合同発表A」（選択）が開講されることを踏まえ、その実施に当たっての発表水準やその確認方法も含めた教務に関する検討を行うため、2020年4月2日に分野長会議を代議員会の下に設置した。</p>	<p>履行中</p>	<p>「人文社会科学修論課題合同発表A」（選択）に関しては、後期の講義開始前までに結論を得て、学生に周知する。</p> <p>また、「人文社会科学修論課題合同発表A」（選択）に関する検討を踏まえ、「人文社会科学修論課題合同発表B」（必修）に関する検討も開始する。</p>

<p>認可時 (令和元年)</p>	<p>心理相談室について、平成30年度実績でケース総数は36件とあるが、学生がより充実した実習を行うため、相談件数を増やすなど、ケース総数を充実させることが望ましい。</p>	<p>助言事項</p>	<p>令和元年度ケース数は50件、のべ面接数は343件 (別添資料3参照)</p>	<p>履行済</p>	<p>平成30年度は、心理教育相談室で実習を行う教育学研究科の在籍大学院生数が例年よりも少なかったために受付件数も責任を持って対応できる数に調整を行っていた。令和元年度は、大学院生数の増加によって受付件数も増加している。総合人文社会科学研究所の設置に伴い、さらなる大学院生数の増加に対応できるように、臨床心理士、公認心理師の有資格教員が令和元年度10月に着任している。地域の心理教育相談室へのニーズは高く、令和2年度以降は令和元年度以上のケース件数となる見通しである。</p>
<p>設置計画履行状況調査時 (令和2年)</p>	<p>心理相談室について、平成30年度実績でケース総数は36件とあるが、学生がより充実した実習を行うため、相談件数を増やすなど、ケース総数を充実させることが望ましい。</p>	<p>助言事項</p>	<p>令和元年度ケース数は50件、のべ面接数は343件</p>	<p>履行済</p>	<p>平成30年度は、心理教育相談室で実習を行う教育学研究科の在籍大学院生数が例年よりも少なかったために受付件数も責任を持って対応できる数に調整を行っていた。令和元年度は、大学院生数の増加によって受付件数も増加している。総合人文社会科学研究所の設置に伴い、さらなる大学院生数の増加に対応できるように、臨床心理士、公認心理師の有資格教員が令和元年度10月に着任している。地域の心理教育相談室へのニーズは高く、令和2年度以降は令和元年度以上のケース件数となる見通しである。</p>

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<総合人文社会科学研究科 総合人文社会科学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
①「4 教育課程の編成の考え方及び特色」 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	①「4 教育課程の編成の考え方及び特色」 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に記載されている次の文言を追加。 「成績評価の公正さと透明性を確保するため、成績の評定は、各科目に掲げられた授業の狙い・目標に向けた到達度をめやすとして採点する。 学位論文に係る評価並びに修了の認定は、客観性及び厳格性を確保するため、その基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準に従って適切に行う。」

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>研究科全体における教員の資質の維持向上方策の実施については、総合人文社会科学研究科代議員会において方針を決定する。 その他の教員の資質の維持向上方策（FD活動含む）については、教員が所属する学系教授会議等において実施している。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>月1回開催、構成員：研究科長、副研究科長、各分野から選出された修士課程担当の研究指導教授 各2名 計11名</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>研究科の運営に関すること</p> <p>信州大学大学院総合人文社会科学研究科委員会代議員会等の運営に関する内規</p> <p>（趣旨）</p> <p>第1条 この内規は、信州大学大学院総合人文社会科学研究科委員会（以下「研究科委員会」という。）規程第7条第3項及び第8条第2項の規定に基づき、代議員会及び会議の組織及び運営に関し必要な事項を定める。</p> <p>〔代議員会〕 （組織）</p> <p>第2条 代議員会は、次の委員をもって組織する。</p> <p>一 研究科長 二 副研究科長 三 各分野から選出された修士課程担当の研究指導教授（ただし、必要があるときは、准教授とすることができる。）各2名</p> <p>2 前項第3号に規定する代議員の任期は、1年とし、再任を妨げない。</p> <p>3 第1項第3号の代議員に欠員を生じた場合の後任の代議員の任期は、前任者の残任期間とする。</p>
--

(所掌事項)

第3条 代議員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- 一 研究科に所属する教員の選考に関する事項
- 二 研究科の組織に関する事項
- 三 研究科の教育課程の編成に関する事項
- 四 研究科の試験に関する事項
- 五 研究科の諸規程の制定及び改廃に関する事項
- 六 研究科の予算概算方針に関する事項
- 七 その他研究科委員会が委任した事項

(議長)

第4条 代議員会に議長を置き、研究科長をもって充てる。

2 議長は、代議員会を主宰する。

3 議長に事故があるときは、第2条第1項第2号の中から、あらかじめ議長が指名した委員が、その職務を代行する。

第5条 代議員会は、委員の3分の2以上の出席により成立し、議事は、出席者の過半数をもって決し可否同数のときは議長が決する。

2 委員に事故がある場合には、代理の出席を認めることができるものとする。

(委員以外の者の出席)

第6条 議長が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(庶務)

第7条 代議員会の庶務は、研究科長が属する学系の事務を所掌する学部の事務部において処理する。

[分野会議]

(組織)

第8条 分野会議は、分野ごとにおき、各分野の主たる授業又は指導を担当するものとして配置された専任の教授、准教授、講師及び助教をもって組織する。

(所掌事項)

第9条 分野会議は、各分野の運営に関する事項を審議する。

(議長)

第10条 分野長は、分野会議を招集し、その議長となる。

2 分野長に事故があるときは、あらかじめ分野長が指名した教授が、その職務を代行する。

[正副研究科長会議]

(組織)

第11条 正副研究科長会議は、研究科長及び副研究科長をもって組織する。

(所掌事項)

第12条 正副研究科長会議は、研究科の運営に関する連絡調整を行う。

(議長)

第13条 研究科長は、正副研究科長会議を招集し、その議長となる。

2 研究科長に事故があるときは、あらかじめ研究科長が指名した副研究科長が、その職務を代行する。

附 則

この内規は、令和2年4月1日から施行する。

② 実施状況

a 実施内容

ア. FD講演会・研修会等を開催し、研究科教員の参加を義務付ける。

イ. 研究倫理教育・コンプライアンス教育

b 実施方法

ア. FDでは一般的な教育改善だけでなく、他分野の教育研究の内容と方法及び教育目標などを共有し教員間で研究科の教育研究理念を実現するために連携協力できる体制を作る。

イ. 教員が所属する学系教授会等において他大学等の事例を照会するなどの教育を実施する。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

イ. 月1回

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

遠隔講義システム等の活用が必要となるため、授業運営、ITツールの活用等に関しFDの場を利用し、指導する側の教育効果を高めるべく、教育改善活動を実施する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

- a 実施の有無及び実施時期
実施時期, 実施方法, アンケート内容等を検討する。
- b 教員や学生への公開状況、方法等
公開状況, 方法等について検討する。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

- a 委員会の設置状況
該当なし
- b 委員会の開催状況(回数や開催日など)
該当なし
- c 委員会の審議事項等
該当なし
- d その他
該当なし

② 審議状況

- a 審議した内容
該当なし
- b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況
該当なし
- c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況
該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

【実施体制】

本学の点検評価については、国立大学法人信州大学組織に関する規則に基づき点検評価委員会を置き、全学的な対応を行っている。

点検評価委員会は、教育、研究、社会貢献及び国際交流活動並びに本法人の組織及び運営その他大学運営全般に対する自己点検・評価、機関別認証評価、国立大学法人評価及び外部評価に関する業務を行うことを任務とする。同委員会は、点検評価担当副学長を委員長として、各部局の点検評価関係委員会の委員長や、本学の教学関連の施策実施に係る研究開発を行う高等教育研究センターのセンター教員等をメンバーとし、全学的な連携の下、教育研究から管理運営等に渡る多様な項目、基準・観点等に対応できる体制を構築している。

【実施方法等】

本学では、令和元年度に外部評価を含む自己点検評価を行うとともに、令和2年度に機関別認証評価を受審する予定としている。

また、第3期中期目標達成のために年度ごとの進捗状況を全学的に確認するとともに、各部局の取組について、法人本部によるヒアリングや評価、それに基づく予算配分を行うことで部局運営の高度化を図っている。毎年度、部局では部局事業計画を作成し、中間評価報告、最終成果報告を作成する。中間評価報告時には学長、理事等によるヒアリング評価を実施している。

【結果の活用・公表】

本学は、平成25年度に機関別認証評価を受審しており、評価結果において「改善を要する点」として指摘を受けた、入学定員の適正な管理等に向け、改善に取り組んでいる。

また、国立大学法人評価の評価結果についても、分析を行い、課題として指摘を受けた事項等については、役員会等で共有を図り、改善に取り組んでいる。

自己点検評価、認証評価及び国立大学法人評価に係る報告書及び評価結果については、本学ウェブサイトにおいて公表している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和3年7月 公表予定

b 公表方法

- ・大学全体において自己点検・評価を行い、大学ホームページ上に公表する。

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和元年度に外部評価を含む自己点検評価を行うとともに、令和2年度に機関別認証評価を受審する予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 その他 ()]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

信州大学大学院総合人文社会科学研究科代議員会等における審議事項等に関する申合せ

(令和2年4月2日 総合人文社会科学研究科代議員会承認)

信州大学大学院総合人文社会科学研究科代議員会等の運営に関する内規（以下「代議員会等内規」という。）第3条各号に規定する審議事項については、代議員会において審議することと規定されているが、同研究科の円滑かつ迅速な運営を図る観点から、当分の間、次の申合せにより取り扱うものとする。

第1 代議員会等内規第3条第3号及び第4号に関する審議のため、研究科長は代議員会内に分野長会議を置くことができる。ただし、分野長会議において議決した事項については、直近に開催される研究科委員会又は代議員会に報告し追認を受けなければならない。

第2 分野長会議は、各分野の分野長及び分野長代理をもって構成する。

附 則

この申合せは、令和2年4月1日から施行する。

(参考) 信州大学大学院総合人文社会科学研究科代議員会等の運営に関する内規
(所掌事項)

第3条 代議員会は、修士課程の各専攻に係る次の各号に掲げる事項を審議する。

- 一 研究科に所属する教員の選考に関する事項
- 二 専攻等研究科の組織に関する事項
- 三 研究科の教育課程の編成に関する事項
- 四 研究科の試験に関する事項
- 五 研究科の諸規程の制定及び改廃に関する事項
- 六 研究科の予算概算方針に関する事項
- 七 その他研究科委員会が委任した事項

令和元年度信州大学大学院教育学研究科心理教育相談室面接統計表

表1 ケース総数

	臨床心理面接 (カウンセリング・ 心理療法)	心理教育相談 (親面接)	教育指導面接 (専門家へのコンサル テーション)	心理検査 (アセスメント)	計
前年度からの 継続ケース	19	0	0	0	19
今年度からの 新規ケース	17	12	0	2	31
計	36	12	0	2	50

表2 年齢および性別ケース数

	年齢	0～3	4～6	7～12	13～15	16～18	19～22	23～30	31～35	36～40	41～50	51～	計
前年度からの 継続ケース	男			1	2	1		1	2		1	2	10
	女			1				2	1		3	2	9
今年度からの 新規ケース	男		1	4	1			2			1	1	10
	女					2			2	4	8	5	21
計		0	1	6	3	3	0	5	5	4	13	10	50

表3 相談内容内訳とそれに対応するケース数

臨床心理面接		心理教育面接		教育指導面接		心理検査	
相談内容	件数	相談内容	件数	相談内容	件数	検査内容	件数
不登校	2	不適応	4	職場での子供への関わり方	0	WISC	0
自己理解	3	盗癖	0	子供の療育	0	WAIS	1
社会不適合	2	不登校	2	その他	0	K-ABC	1
情緒不安定	4	学習上の障害	0			田中ビネー	0
対人関係	5	言語障害	0			性格検査	0
脳外傷・機能障害	0	発達障害	3			その他	0
うつ	2	親子関係	2				
家族関係	5	担任との関わり	0				
発達障害	2	その他	1				
言語障害	0						
その他	11						
計	36	計	12	計	0	計	2

表4 延べ面接回数

H. 31年4月～R. 2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
受理面接 (インタビュー)	3	1	5	3	3	2	2	4	4	2	2	1	32
臨床心理面接 (カウンセリング・心理療法)	14	17	21	21	18	15	21	19	22	27	17	18	230
心理教育面接 (親面接)	3	1	3	2	3	8	9	9	10	9	7	10	74
教育指導面接 (専門家へのコンサルテーション)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心理検査 (アセスメント)	0	1	2	1	0	0	0	2	1	0	0	0	7
計	20	20	31	27	24	25	32	34	37	38	26	29	343

R. 2年3月末現在